



新基準の設定：IFRS第17号準拠への準備

調査結果大要

Economist Impact がデロイトのために実施した調査
2022年12月

Developed by

**ECONOMIST
IMPACT**

目次

背景

新基準の設定：IFRS第17号準拠への準備

- パートⅠ：準拠までの時間
- パートⅡ：ITシステムの準備状況
- パートⅢ：財政的および人的資源の割り当て
- パートⅣ：財務諸表への影響
- パートⅤ：コミュニケーションの変化
- パートⅥ：事業の強化

調査統計

連絡先

注意事項：本資料はDeloitte Globalが作成し、デロイトトーマツグループが翻訳・加筆したものです。和訳版と原文（英語）に差異が発生した場合には、原文を優先します。

背景

背景

デロイトとEconomist ImpactはIFRS第17号に関する世界の保険業界の見解を調査するために再度協力しました。この重要なトピックに関する最高品質の独立した調査を提供するという私たちの取り組みは10年に及びます。私たちは、米国を含むすべての市場で採用されたグローバルな会計基準へのグローバルな収束という見通しが確実だった2012年に「待機戦術に勝つ? (Winning the waiting game?) 」というタイトルの最初の調査をリリースしました。

保険会計の橋の下を多くの水が流れました。2014年に米国の規制当局が、米国保険会計の改革プロジェクトを自らの手で行った際には、グローバルな収束は実現しませんでした。2013年と2018年の調査は、IFRS第17号の到来によりすべての市場でエンゲージメントのレベルが高まっていることを報告しました。それらの調査では、実装への取り組みの膨大さを業界全体が理解していることも確認しました。2021年へのカウントダウンは完了せず、2020年にはゴールポストが現在の目標である2023年1月に変更されました。

本統計大要では、2022年の5月から6月の間に集められた360人のグローバルな参加者からの回答を見ることができます。本大要には、2023年にIFRS第17号に完全に準拠するように組織を運営することに関与している上級保険実務者の大規模なサンプルから収集した見解を分析する4つのレポートが付属しています。

Francesco Nagari

グローバルIFRS保険リーダー
デロイト中国

過去の調査へのリンク

[Global Survey 2018: "2021 countdown underway"](#)

[Global Survey 2013: "Gaining momentum"](#)

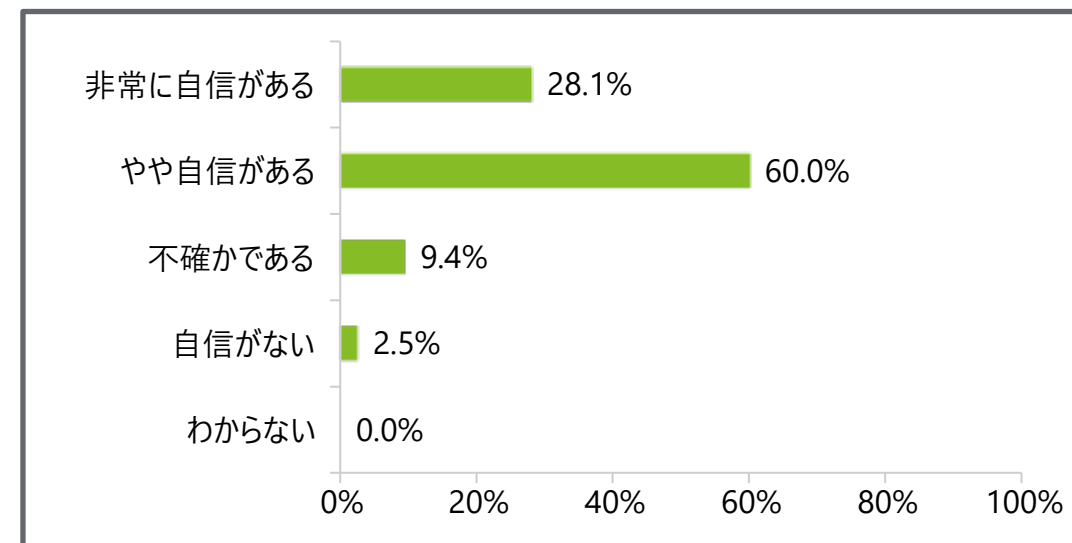
[Global Survey 2012: "Winning the waiting game?"](#)

新基準の設定：IFRS第17号準拠への準備

パート I : 準拠までの時間

2023年1月1日の「稼働」日までにあなたの組織が新たなIFRS第17号に準拠できていることにどの程度自信がありますか？ 1つ選んでください。

回答	#	%
非常に自信がある	101	28.1%
やや自信がある	216	60.0%
不確かである	34	9.4%
自信がない	9	2.5%
わからない	0	0.0%
合計	360	100.0%



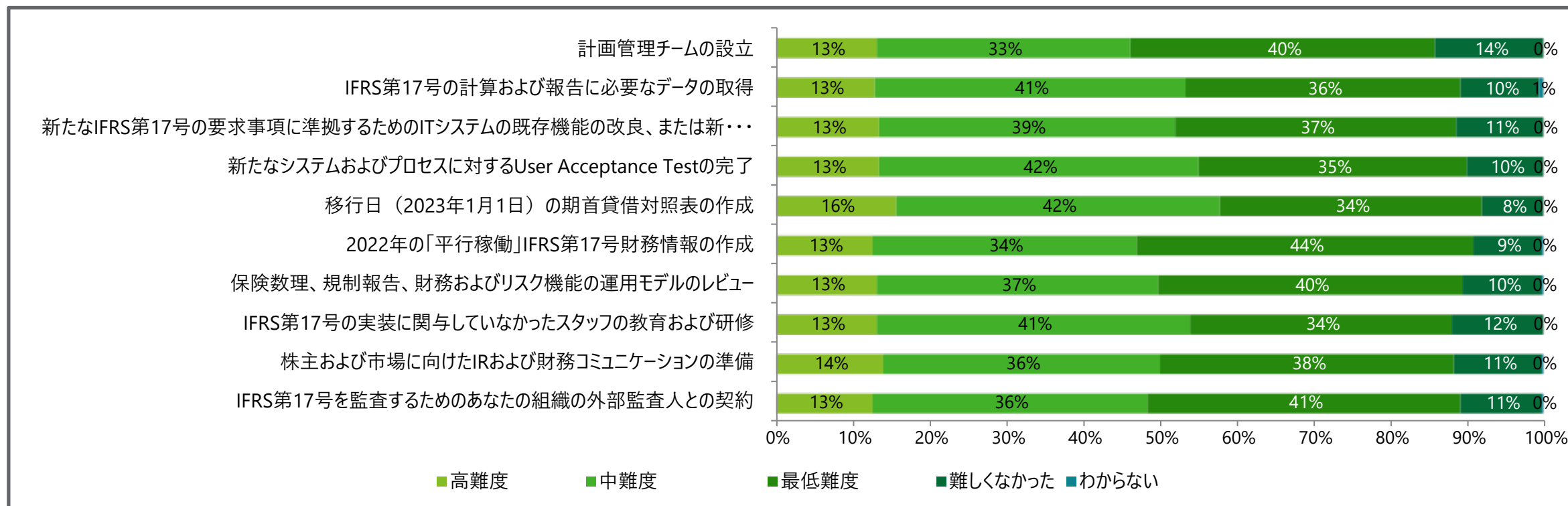
IFRS第17号の「稼働」日に向けてあなたの会社が準備するにあたり、各段階を正常に完了するためにあなたの組織が経験した（経験している）難易度を示してください。 各行から1つ選んでください。

	高難度	中難度	最低難度	難しくなかった	わからない	合計
計画管理チームの設立	47 13.1%	119 33.1%	143 39.7%	51 14.2%	0 0.0%	360 100.0%
IFRS第17号の計算および報告に必要なデータの取得	46 12.8%	146 40.6%	129 35.8%	37 10.3%	2 0.6%	360 100.0%
新たなIFRS第17号の要求事項に準拠するためのITシステムの既存機能の改良、または新システムの実装	48 13.3%	139 38.6%	132 36.7%	41 11.4%	0 0.0%	360 100.0%
新たなシステムおよびプロセスに対するUser Acceptance Testの完了	48 13.3%	150 41.7%	126 35.0%	36 10.0%	0 0.0%	360 100.0%
移行日（2023年1月1日）の期首貸借対照表の作成	56 15.6%	152 42.2%	123 34.2%	29 8.1%	0 0.0%	360 100.0%

IFRS第17号の「稼働」日に向けてあなたの会社が準備するにあたり、各段階を正常に完了するためにあなたの組織が経験した（経験している）難易度を示してください。各行から1つ選んでください。（続き）

	高難度	中難度	最低難度	難しくなかった	わからない	合計
2022年の「並行稼働」IFRS第17号財務情報の作成	45 12.5%	124 34.4%	158 43.9%	32 8.9%	1 0.3%	360 100.0%
保険数理、規制報告、財務およびリスク機能の運用モデルのレビュー	47 13.1%	132 36.7%	143 39.7%	37 10.3%	1 0.3%	360 100.0%
IFRS第17号の実装に関与していなかったスタッフの教育および研修	47 13.1%	147 40.8%	123 34.2%	43 11.9%	0 0.0%	360 100.0%
株主および市場に向けたIRおよび財務コミュニケーションの準備	50 13.9%	130 36.1%	138 38.3%	41 11.4%	1 0.3%	360 100.0%
IFRS第17号を監査するためのあなたの組織の外部監査人との契約	45 12.5%	129 35.8%	147 40.8%	38 10.6%	1 0.3%	360 100.0%

IFRS第17号の「稼働」日に向けてあなたの会社が準備するにあたり、各段階を正常に完了するためにあなたの組織が経験した（経験している）難易度を示してください。各行から1つ選んでください。（続き）



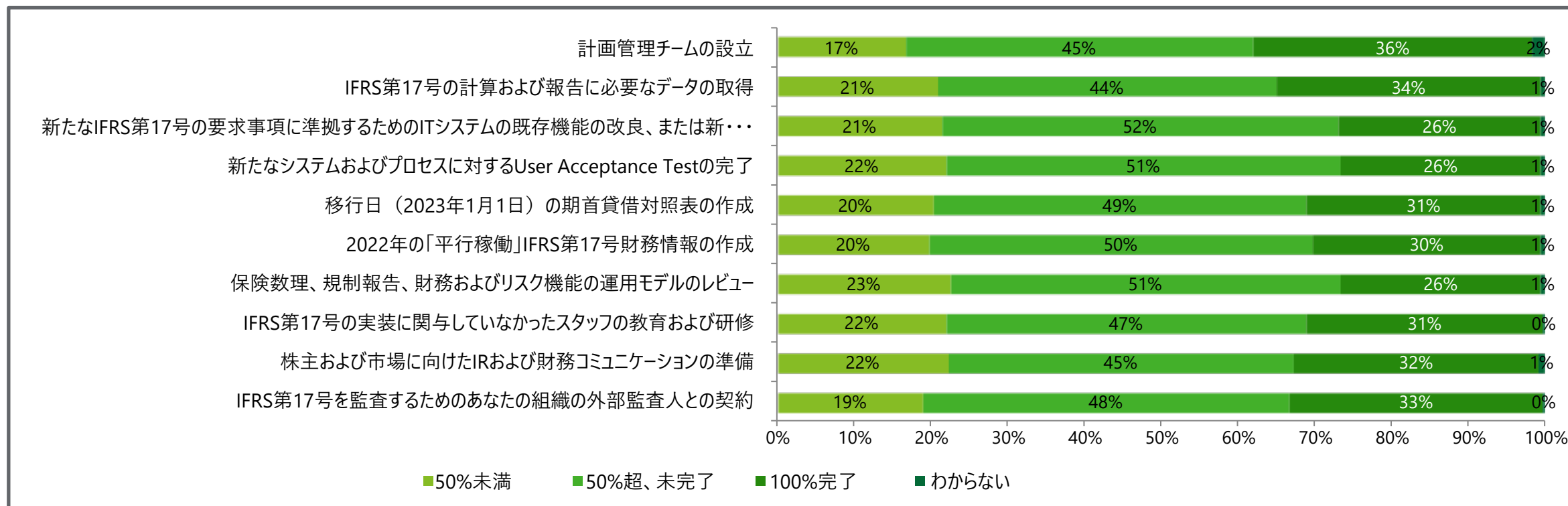
「稼働」日前の各作業工程の完了に向けたあなたの組織の現在の進捗状況はいかがですか？ 各行から1つ選んでください。

	50%未満	50%超、 未完了	100%完了	わからない	合計
計画管理チームの設立	60 16.7%	163 45.3%	131 36.4%	6 1.7%	360 100.0%
IFRS第17号の計算および報告に必要なデータの取得	75 20.8%	159 44.2%	124 34.4%	2 0.6%	360 100.0%
新たなIFRS第17号の要求事項に準拠するためのITシステムの既存機能の改良、または新システムの実装	77 21.4%	186 51.7%	95 26.4%	2 0.6%	360 100.0%
新たなシステムおよびプロセスに対するUser Acceptance Testの完了	79 21.9%	185 51.4%	94 26.1%	2 0.6%	360 100.0%
移行日（2023年1月1日）の期首貸借対照表の作成	73 20.3%	175 48.6%	110 30.6%	2 0.6%	360 100.0%

「稼働」日前の各作業工程の完了に向けたあなたの組織の現在の進捗状況はいかがですか？ 各行から1つ選んでください。（続き）

	50%未満	50%超、 未完了	100%完了	わからない	合計
2022年の「並行稼働」IFRS第17号財務情報の作成	71 19.7%	180 50.0%	107 29.7%	2 0.6%	360 100.0%
保険数理、規制報告、財務およびリスク機能の運用モデルのレビュー	81 22.5%	183 50.8%	94 26.1%	2 0.6%	360 100.0%
IFRS第17号の実装に関与していなかったスタッフの教育および研修	79 21.9%	169 46.9%	111 30.8%	1 0.3%	360 100.0%
株主および市場に向けたIRおよび財務コミュニケーションの準備	80 22.2%	162 45.0%	115 31.9%	3 0.8%	360 100.0%
IFRS第17号を監査するためのあなたの組織の外部監査人との契約	68 18.9%	172 47.8%	119 33.1%	1 0.3%	360 100.0%

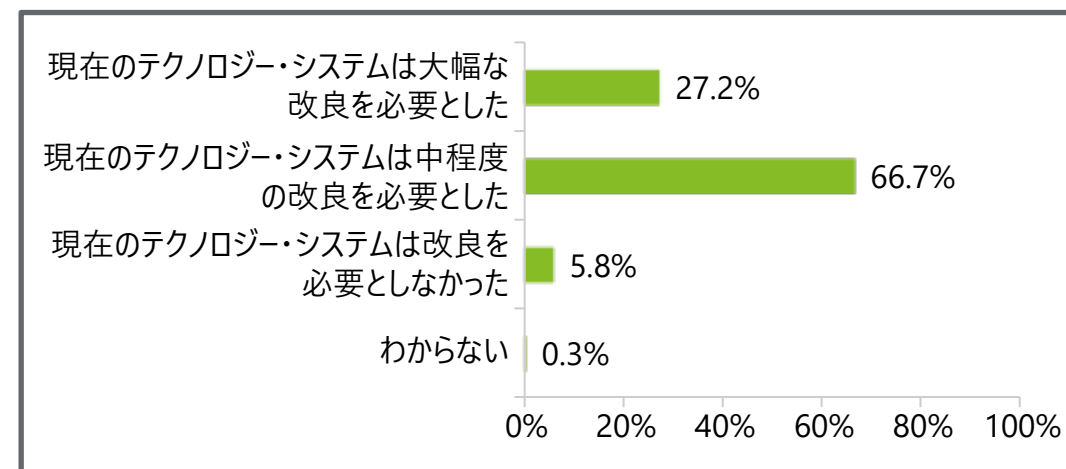
「稼働」日前の各作業工程の完了に向けたあなたの組織の現在の進捗状況はいかがですか？ 各行から1つ選んでください。（続き）



パートⅡ：ITシステムの準備状況

あなたの組織の現在のテクノロジー・システム（財務報告、管理、あるいは保険数理システム）は、IFRS第17号の要求事項を満たすためにどの程度変更されたと感じますか？ 1つ選んでください。

回答	#	%
現在のテクノロジー・システムは大幅な改良を必要とした	98	27.2%
現在のテクノロジー・システムは中程度の改良を必要とした	240	66.7%
現在のテクノロジー・システムは改良を必要としなかった	21	5.8%
わからない	1	0.3%
合計	360	100.0%



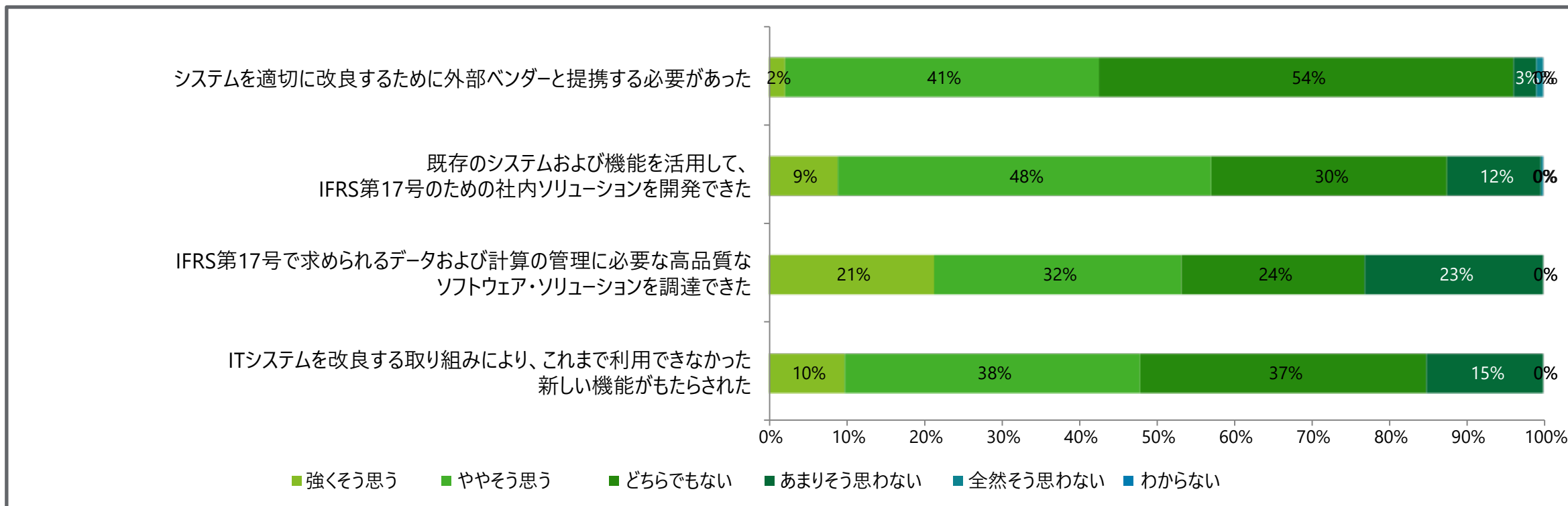
以下の記述について、あなたの同意／不同意を示してください。各行から1つ選んでください。

この質問は、テクノロジー・システムが大幅な、または中程度の改良を必要としたと回答した参加者によって回答されました。（360人の参加者のうち338人 15ページ参照）

	強く そう思う	やや そう思う	どちら でもない	あまり そう思わない	全然 そう思わない	わからない	合計
システムを適切に改良するために外部ベンダーと提携する必要があった	7 2.1%	137 40.5%	181 53.6%	10 3.0%	3 0.9%	0 0.0%	338 100.0%
既存のシステムおよび機能を活用して、IFRS第17号のための社内ソリューションを開発できた	30 8.9%	163 48.2%	103 30.5%	41 12.1%	1 0.3%	0 0.0%	338 100.0%
IFRS第17号で求められるデータおよび計算の管理に必要な高品質なソフトウェア・ソリューションを調達できた	72 21.3%	108 32.0%	80 23.7%	78 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	338 100.0%
ITシステムを改良する取り組みにより、これまで利用できなかった新しい機能がもたらされた	33 9.8%	129 38.2%	125 37.0%	51 15.1%	0 0.0%	0 0.0%	338 100.0%

以下の記述について、あなたの同意／不同意を示してください。各行から1つ選んでください。

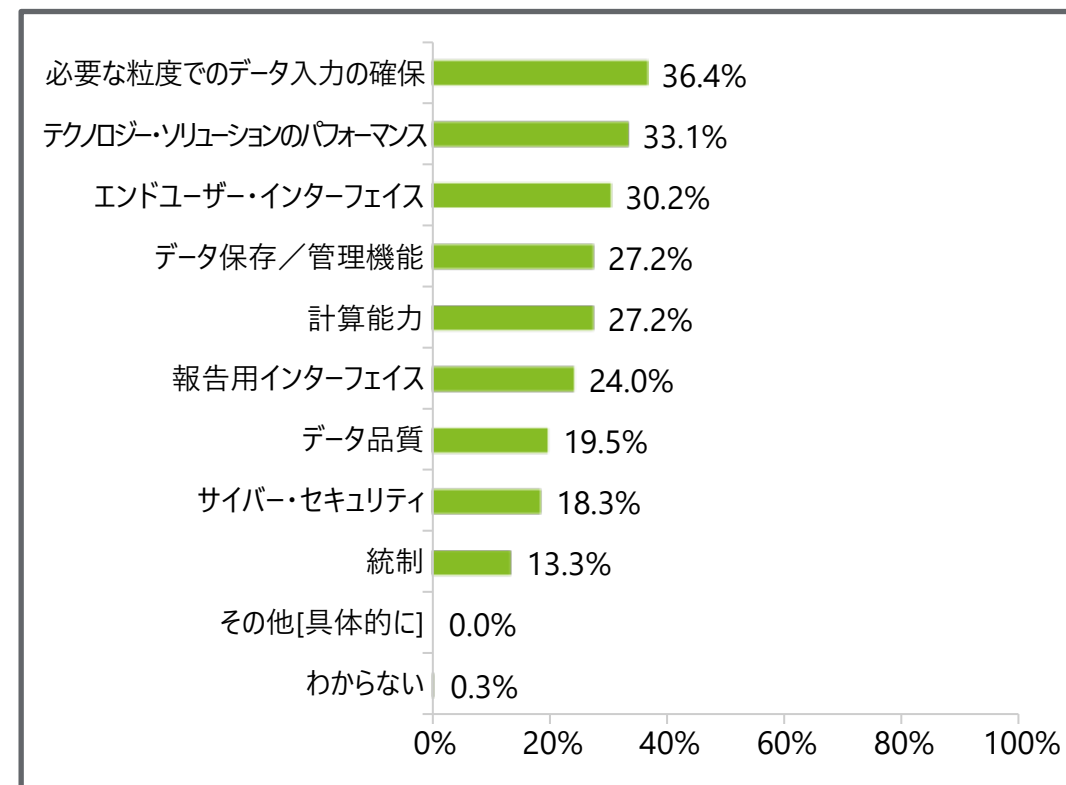
この質問は、テクノロジー・システムが大幅な、または中程度の改良を必要としたと回答した参加者によって回答されました。（360人の参加者のうち338人 15ページ参照）



あなたの組織のこれまでの実装およびシステム／ユーザー・テストの経験に基づいて、IFRS第17号準拠をサポートするためのテクノロジー・ソリューションを準備する際に苦労した点はどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

この質問は、テクノロジー・システムが大幅な、または中程度の改良を必要としたと回答した参加者によって回答されました。（360人の参加者のうち338人 15ページ参照）

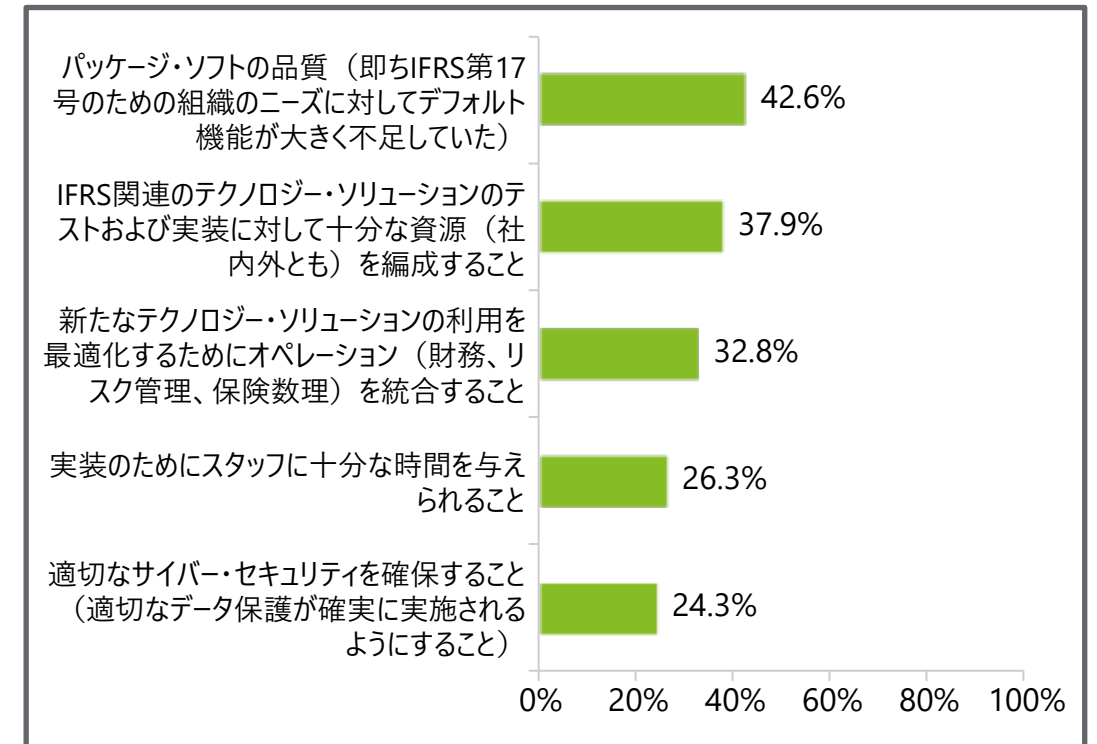
回答	#	%
データソース全体（即ち財務、リスク管理、保険数理機能）において求められる水準の粒度でのデータ入力を確保すること	123	36.4%
テクノロジー・ソリューションのパフォーマンス（即ち自動化ソリューションの速度／処理時間）	112	33.1%
エンドユーザー・インターフェイス	102	30.2%
データ保存／管理機能	92	27.2%
計算能力	92	27.2%
報告用インターフェイス	81	24.0%
データ品質	66	19.5%
サイバー・セキュリティ	62	18.3%
統制	45	13.3%
その他[具体的に]	0	0.0%
わからない	1	0.3%
上記複数選択への回答者総数	338	100.0%



あなたの組織がIFRS第17号準拠をサポートするためのテクノロジー・ソリューションの実装を完了するにあたり課題となった点はどれですか？ あてはまるものを3つまで選んでください。

この質問は、テクノロジー・システムが大幅な、または中程度の改良を必要としたと回答した参加者によって回答されました。（360人の参加者のうち338人 15ページ参照）

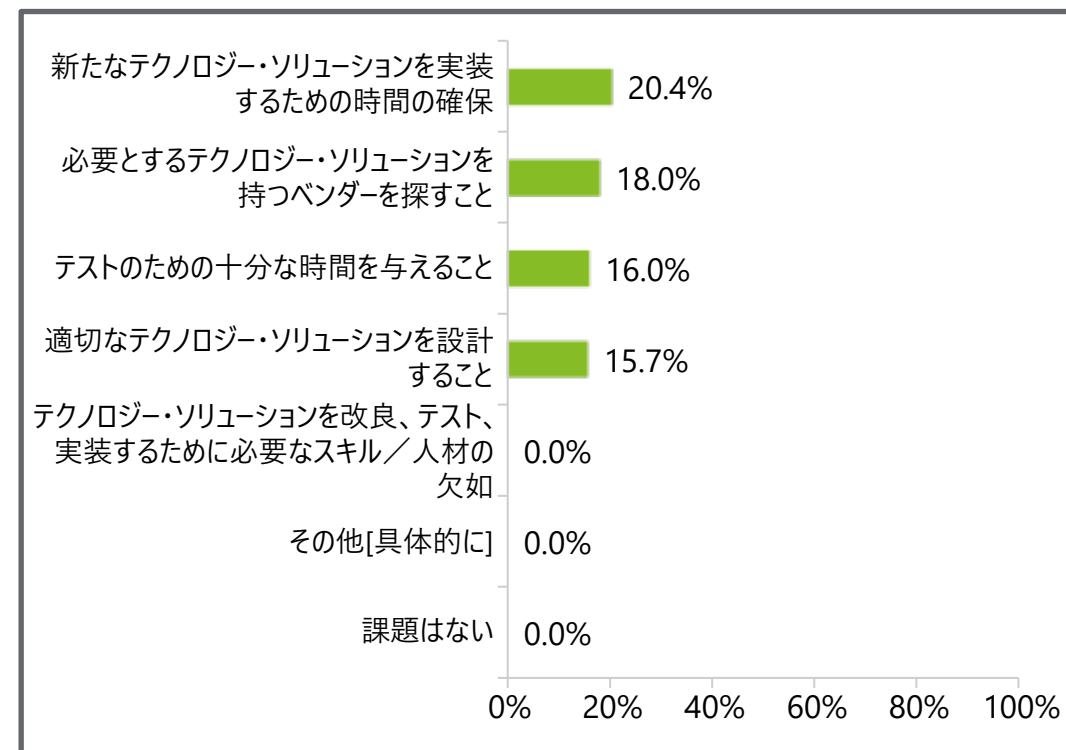
回答	#	%
パッケージ・ソフトの品質（即ちIFRS第17号のための組織のニーズに対してデフォルト機能が大きく不足していた）	144	42.6%
IFRS関連のテクノロジー・ソリューションのテストおよび実装に対して十分な資源（社内外とも）を編成すること	128	37.9%
新たなテクノロジー・ソリューションの利用を最適化するためにオペレーション（財務、リスク管理、保険数理）を統合すること	111	32.8%
実装のためにスタッフに十分な時間を与えられること	89	26.3%
適切なサイバー・セキュリティを確保すること（適切なデータ保護が確実に実施されるようにすること）	82	24.3%



あなたの組織がIFRS第17号準拠をサポートするためのテクノロジー・ソリューションの実装を完了するにあたり課題となった点はどれですか？ あてはまるものを3つまで選んでください。（続き）

この質問は、テクノロジー・システムが大幅な、または中程度の改良を必要としたと回答した参加者によって回答されました。（360人の参加者のうち338人 15ページ参照）

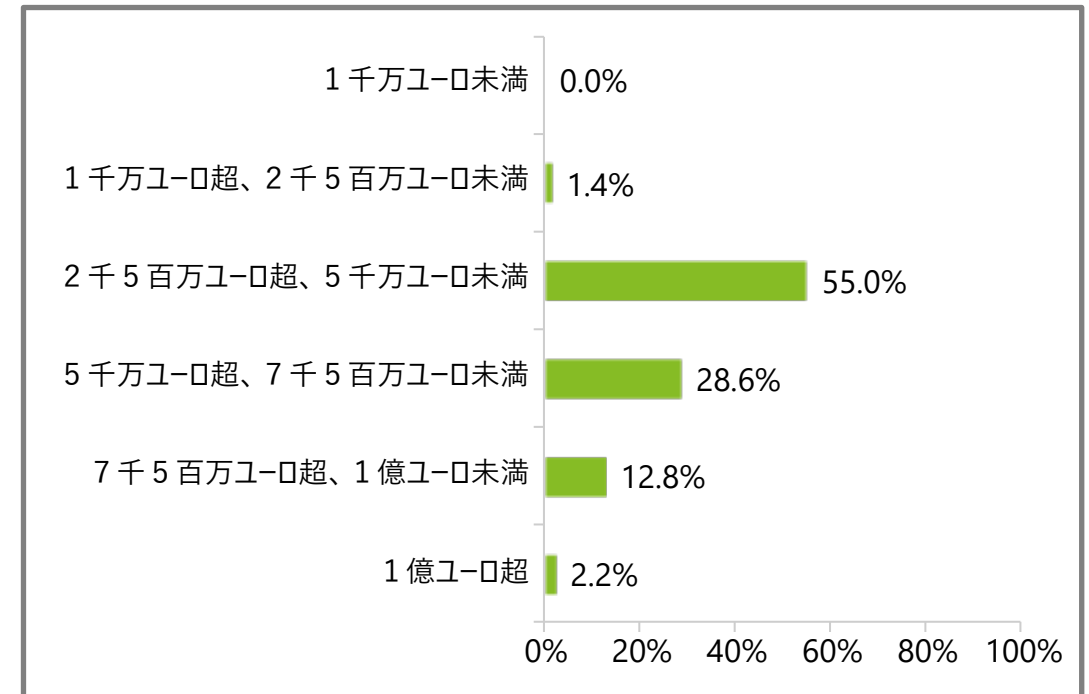
回答	#	%
新たなテクノロジー・ソリューションを実装するための時間の確保	69	20.4%
必要とするテクノロジー・ソリューションを持つベンダーを探すこと	61	18.0%
テストのための十分な時間を与えること	54	16.0%
適切なテクノロジー・ソリューションを設計すること	53	15.7%
テクノロジー・ソリューションを改良、テスト、実装するために必要なスキル／人材の欠如[欠如しているスキル／人材を具体的に]	0	0.0%
その他[具体的に]	0	0.0%
課題はない	0	0.0%
上記複数選択への回答者総数	338	100.0%



パートⅢ：財政的および人的資源の割り当て

新たなIFRS第17号の規制に対応するためのグローバルな予算総額（社内リソース、新しいシステム・ソフトウェア／ハードウェアの購入費用、専門サービスの外部費用を含む）の見積りは？ 1つ選んでください。

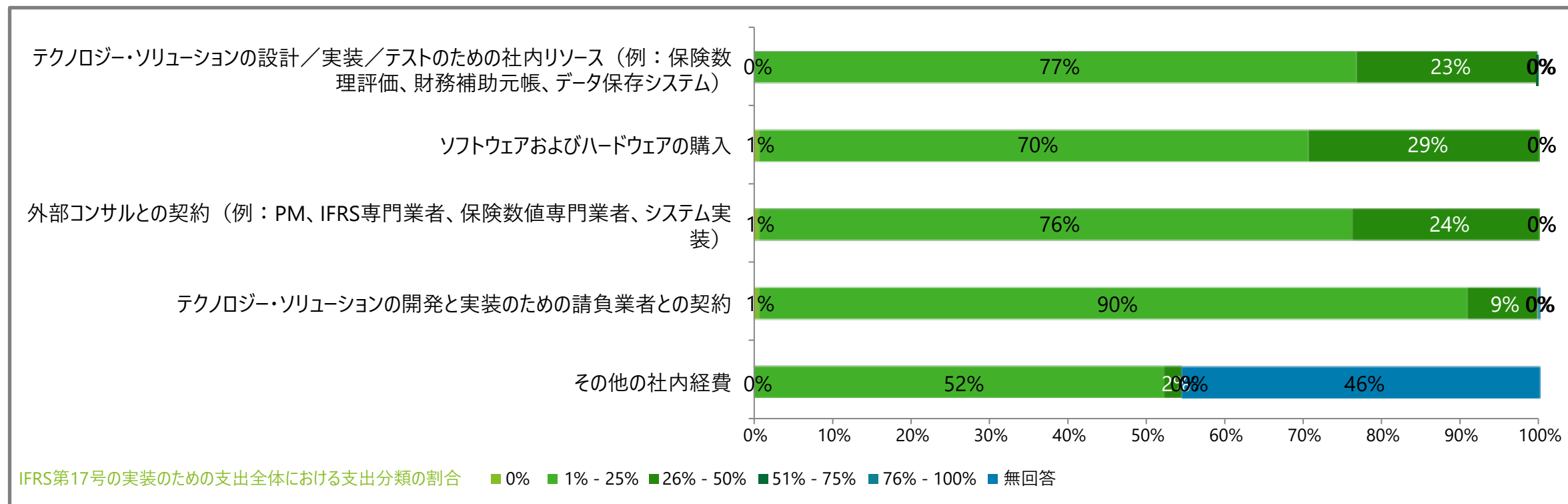
回答	#	%
1千万ユーロ未満	0	0.0%
1千万ユーロ超、2千5百万ユーロ未満	5	1.4%
2千5百万ユーロ超、5千万ユーロ未満	198	55.0%
5千万ユーロ超、7千5百万ユーロ未満	103	28.6%
7千5百万ユーロ超、1億ユーロ未満	46	12.8%
1億ユーロ超	8	2.2%
わからない	0	0.0%
合計	360	100.0%



予算がどのように使われる／使われたかを見積もってください。各行はIFRS第17号の実装のための支出の分類、各列はその支出分類に対するIFRS第17号の実装費用の割合の範囲を表します。

支出分類	0%	1% - 25%	26% - 50%	51% - 75%	76% - 100%	無回答	合計
テクノロジー・ソリューションの設計／実装／テストのための社内リソース（例：保険数理評価、財務補助元帳、データ保存システム）	0	276	83	1	0	0	360
	0.0%	76.7%	23.1%	0.3%	0.0%	0.0%	100.0%
ソフトウェアおよびハードウェアの購入	2	252	106	0	0	0	360
	0.6%	70.0%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
外部コンサルとの契約（例：PM、IFRS専門業者、保険数値専門業者、システム実装）	2	272	86	0	0	0	360
	0.6%	75.6%	23.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
テクノロジー・ソリューションの開発と実装のための請負業者との契約	2	325	32	0	0	1	360
	0.6%	90.3%	8.9%	0.0%	0.0%	0.3%	100.0%
その他の社内経費	0	188	8	0	0	164	360
	0.0%	52.2%	2.2%	0.0%	0.0%	45.6%	100.0%

予算がどのように使われる／使われたかを見積もってください。



IFRS第17号の実装の取り組みのピーク時には何人が関与します（しました）か？ 各行で1つ選んでください。

	関与なし	1 to 10	11 to 25	26 to 50	51 to 75	76 +	わからない	合計
正社員：財務	0 0.0%	25 6.9%	181 50.3%	145 40.3%	9 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	360 100.0%
正社員：保険数理	1 0.3%	8 2.2%	88 24.4%	176 48.9%	85 23.6%	2 0.6%	0 0.0%	360 100.0%
正社員：IT	1 0.3%	23 6.4%	99 27.5%	130 36.1%	104 28.9%	3 0.8%	0 0.0%	360 100.0%
正社員：その他[具体的に]	0	0	0	0	0	0	0	0

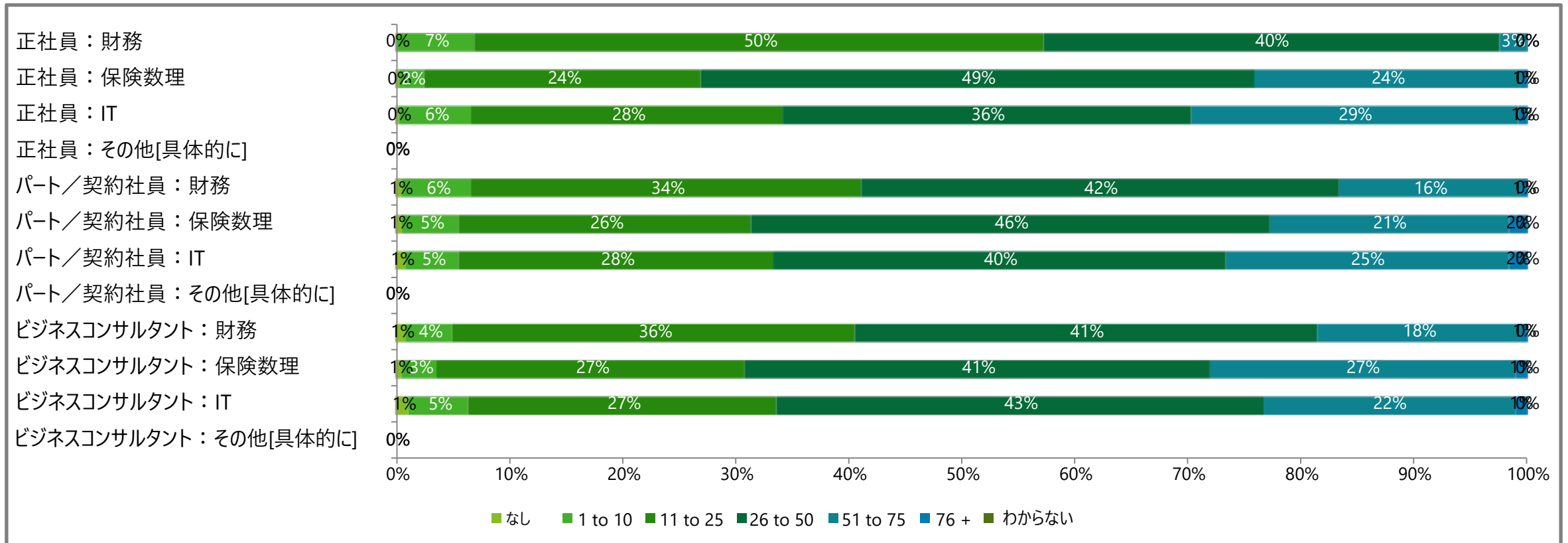
IFRS第17号の実装の取り組みのピーク時には何人が関与します（しました）か？ 各行で1つ選んでください。
（続き）

	関与なし	1 to 10	11 to 25	26 to 50	51 to 75	76 +	わからない	合計
パート／契約社員：財務	2 0.6%	22 6.1%	124 34.4%	152 42.2%	58 16.1%	2 0.6%	0 0.0%	360 100.0%
パート／契約社員：保険数理	2 0.6%	18 5.0%	93 25.8%	165 45.8%	76 21.1%	6 1.7%	0 0.0%	360 100.0%
パート／契約社員：IT	3 0.8%	17 4.7%	100 27.8%	144 40.0%	90 25.0%	6 1.7%	0 0.0%	360 100.0%
パート／契約社員：その他[具体的に]	0	0	0	0	0	0	0	0

IFRS第17号の実装の取り組みのピーク時には何人が関与します（しました）か？ 各行で1つ選んでください。
（続き）

	関与なし	1 to 10	11 to 25	26 to 50	51 to 75	76 +	わからない	合計
ビジネスコンサルタント：財務	3 0.8%	15 4.2%	128 35.6%	147 40.8%	65 18.1%	2 0.6%	0 0.0%	360 100.0%
ビジネスコンサルタント：保険数理	2 0.6%	11 3.1%	98 27.2%	148 41.1%	97 26.9%	4 1.1%	0 0.0%	360 100.0%
ビジネスコンサルタント：IT	4 1.1%	19 5.3%	98 27.2%	155 43.1%	80 22.2%	4 1.1%	0 0.0%	360 100.0%
ビジネスコンサルタント：その他[具体的に]	0	0	0	0	0	0	0	0

IFRS第17号の実装の取り組みのピーク時には何人が関与します（しました）か？ 各行で1つ選んでください。
 （続き）

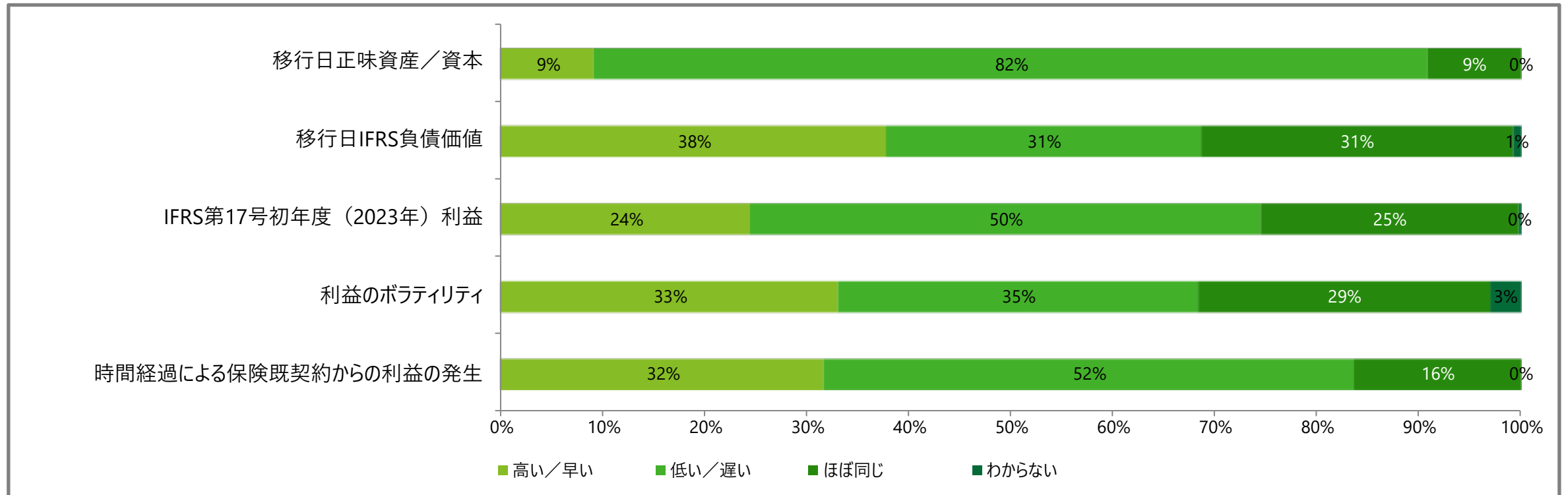


パートⅣ：財務諸表への影響

移行日（即ち発効日を2023年1月1日とするIFRS第17号を採用した暦年での報告企業においては2022年1月1日）後、現在の報告要件と比較して、IFRS第17号準拠によるあなたの組織の財務諸表へ予想される影響を示してください。 各行で1つ選んでください。

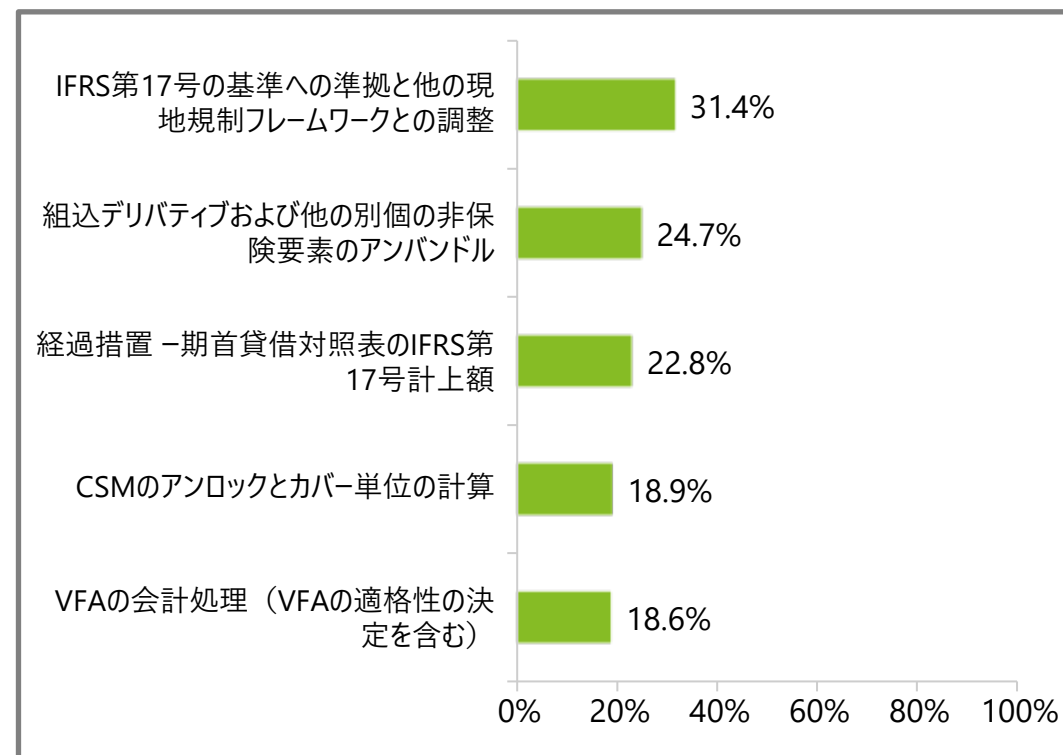
	高い／早い	低い／遅い	ほぼ同じ	わからない	合計
移行日正味資産／資本	33 9.2%	294 81.7%	33 9.2%	0 0.0%	360 100.0%
移行日IFRS負債価値	136 37.8%	111 30.8%	110 30.6%	3 0.8%	360 100.0%
IFRS第17号初年度（2023年）利益	88 24.4%	180 50.0%	91 25.3%	1 0.3%	360 100.0%
利益のボラティリティ	119 33.1%	127 35.3%	103 28.6%	11 3.1%	360 100.0%
時間経過による保険既契約からの利益の発生	114 31.7%	187 51.9%	59 16.4%	0 0.0%	360 100.0%

移行日（即ち発効日を2023年1月1日とするIFRS第17号を採用した暦年での報告企業においては2022年1月1日）後、現在の報告要件と比較して、IFRS第17号準拠によるあなたの組織の財務諸表へ予想される影響を示してください。 各行で1つ選んでください。



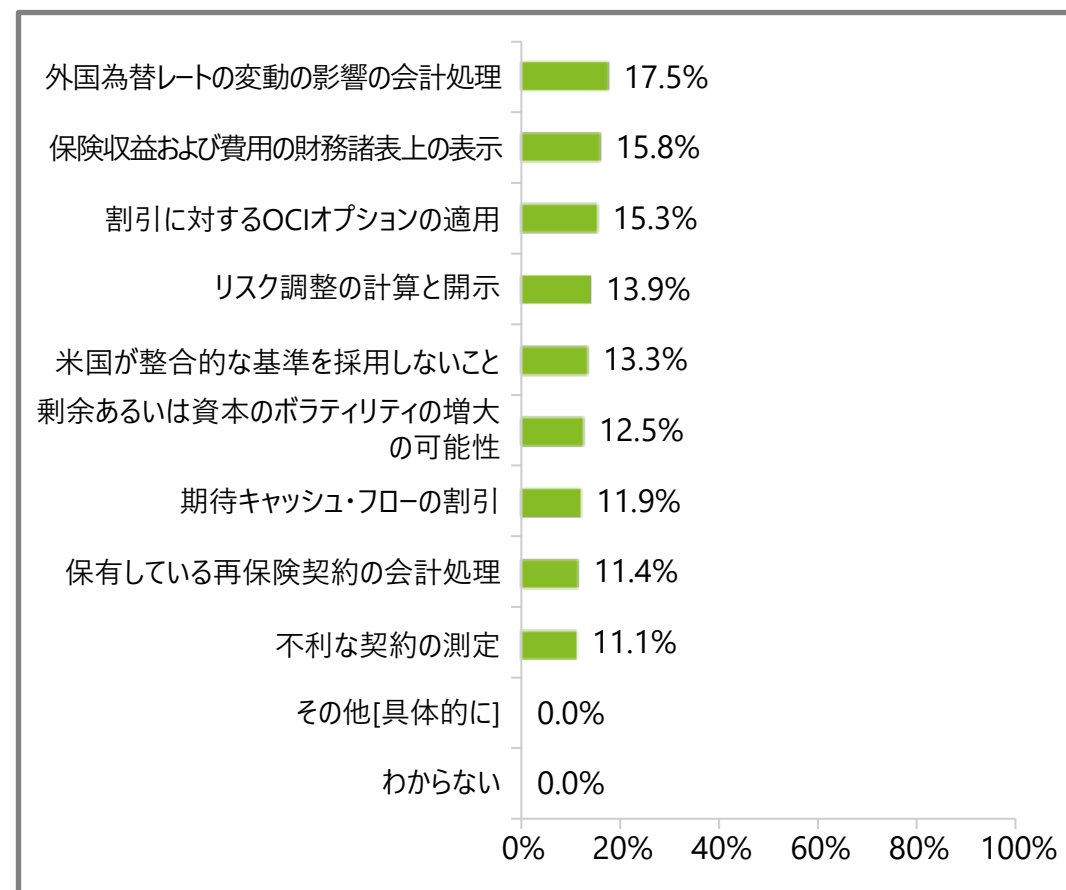
IFRS第17号報告における最も困難な課題は何だと思えますか？ 3つまで選んでください。

回答	#	%
IFRS第17号の基準への準拠と他の現地規制フレームワーク（EUにおけるソルベンシーII、アジア諸国における新RBC基準、等）との調整	113	31.4%
組込デリバティブおよび他の別個の非保険要素のアンバンドル	89	24.7%
経過措置 - 期首貸借対照表のIFRS第17号計上額	82	22.8%
CSMのアンロックとカバー単位の計算	68	18.9%
VFAの会計処理（VFAの適格性の決定を含む）	67	18.6%



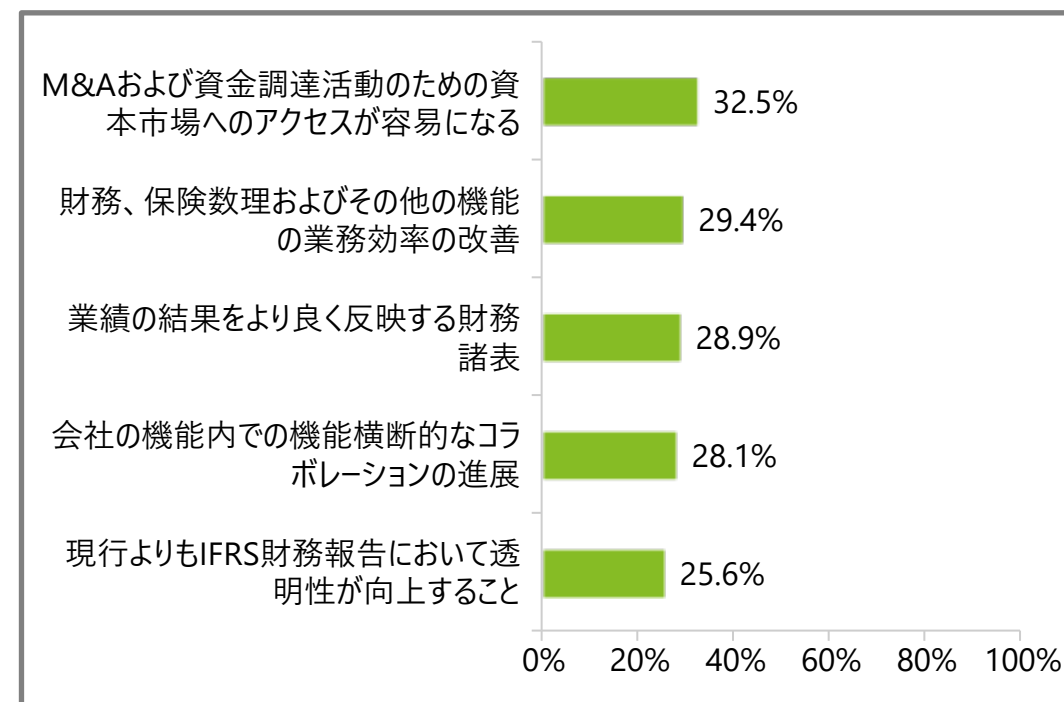
IFRS第17号報告における最も困難な課題は何だと思えますか？ 3つまで選んでください。（続き）

回答	#	%
外国為替レートの変動の影響の会計処理	63	17.5%
保険収益および費用の財務諸表上の表示	57	15.8%
割引に対するOCIオプションの適用	55	15.3%
リスク調整の計算と開示	50	13.9%
米国が統合的な基準を採用しないこと	48	13.3%
剰余あるいは資本のボラティリティの増大の可能性	45	12.5%
期待キャッシュ・フローの割引	43	11.9%
保有している再保険契約の会計処理	41	11.4%
不利な契約の測定	40	11.1%
その他[具体的に]	0	0.0%
わからない	0	0.0%
上記複数選択への回答者総数	360	100.0%



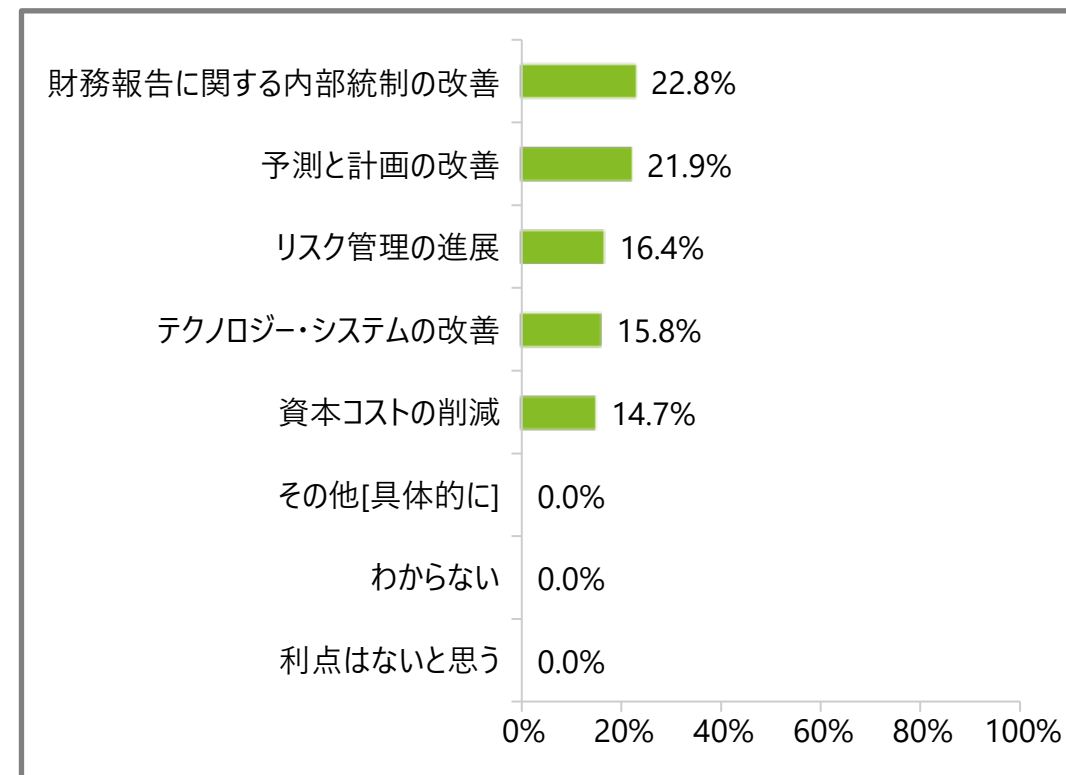
あなたの組織にとってIFRS第17号に準拠した場合の利点は何だと思えますか？ 3つまで選んでください。

回答	#	%
M&Aおよび資金調達活動のための資本市場へのアクセスが容易になる	117	32.5%
財務、保険数理およびその他の機能の業務効率の改善	106	29.4%
業績の結果をより良く反映する財務諸表	104	28.9%
会社の機能内での機能横断的なコラボレーションの進展	101	28.1%
現行よりもIFRS財務報告において透明性が向上すること	92	25.6%



あなたの組織にとってIFRS第17号に準拠した場合の利点は何だと思えますか？ 3つまで選んでください。（続き）

回答	#	%
財務報告に関する内部統制の改善	82	22.8%
予測と計画の改善	79	21.9%
リスク管理の進展	59	16.4%
テクノロジー・システムの改善	57	15.8%
資本コストの削減	53	14.7%
その他[具体的に]	0	0.0%
わからない	0	0.0%
利点はないと思う	0	0.0%
上記複数選択への回答者総数	360	100.0%

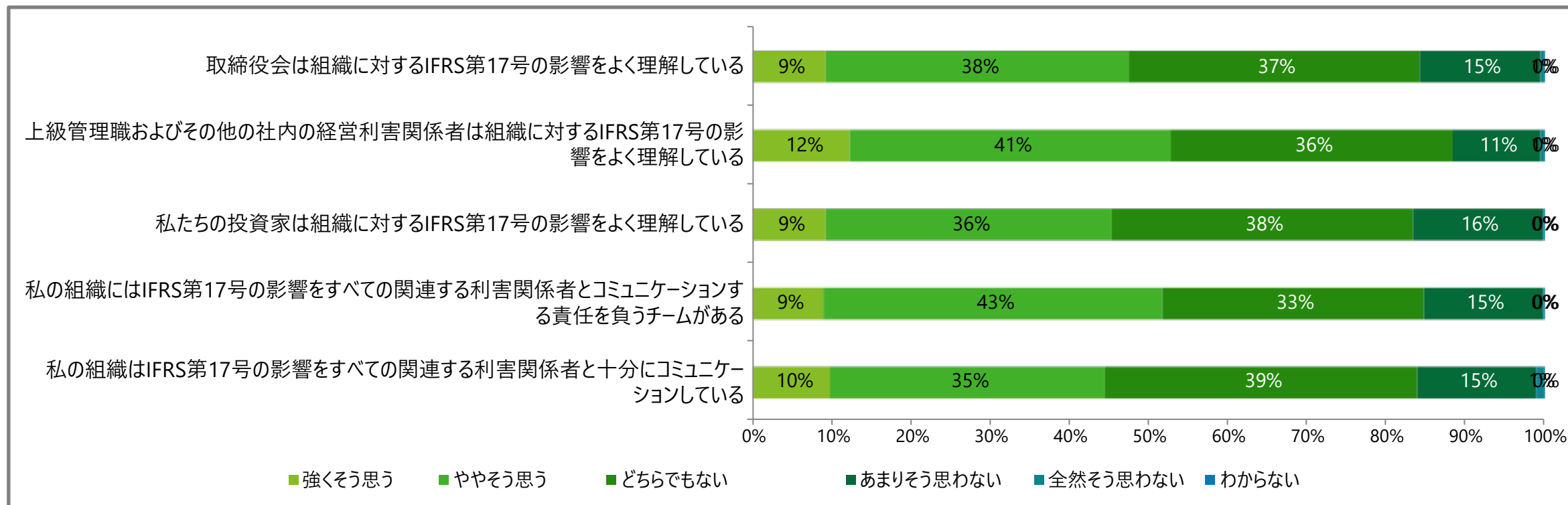


パート V : コミュニケーションの変化

利害関係者に対するIFRS第17号に関するあなたの組織のコミュニケーションのレベルについて、以下の記述にどの程度同意しますか？ 各行で1つ選んでください。

	強く そう思う	やや そう思う	どちら でもない	あまり そう思わない	全然 そう思わない	わからない	合計
取締役会は組織に対するIFRS第17号の影響をよく理解している	33 9.2%	138 38.3%	132 36.7%	55 15.3%	2 0.6%	0 0.0%	360 100.0%
上級管理職およびその他の社内の経営利害関係者は組織に対するIFRS第17号の影響をよく理解している	44 12.2%	146 40.6%	128 35.6%	40 11.1%	2 0.6%	0 0.0%	360 100.0%
私たちの投資家は組織に対するIFRS第17号の影響をよく理解している	33 9.2%	130 36.1%	137 38.1%	59 16.4%	1 0.3%	0 0.0%	360 100.0%
私の組織にはIFRS第17号の影響をすべての関連する利害関係者とコミュニケーションする責任を負うチームがある	32 8.9%	154 42.8%	119 33.1%	54 15.0%	1 0.3%	0 0.0%	360 100.0%
私の組織はIFRS第17号の影響をすべての関連する利害関係者と十分にコミュニケーションしている	35 9.7%	125 34.7%	142 39.4%	54 15.0%	4 1.1%	0 0.0%	360 100.0%

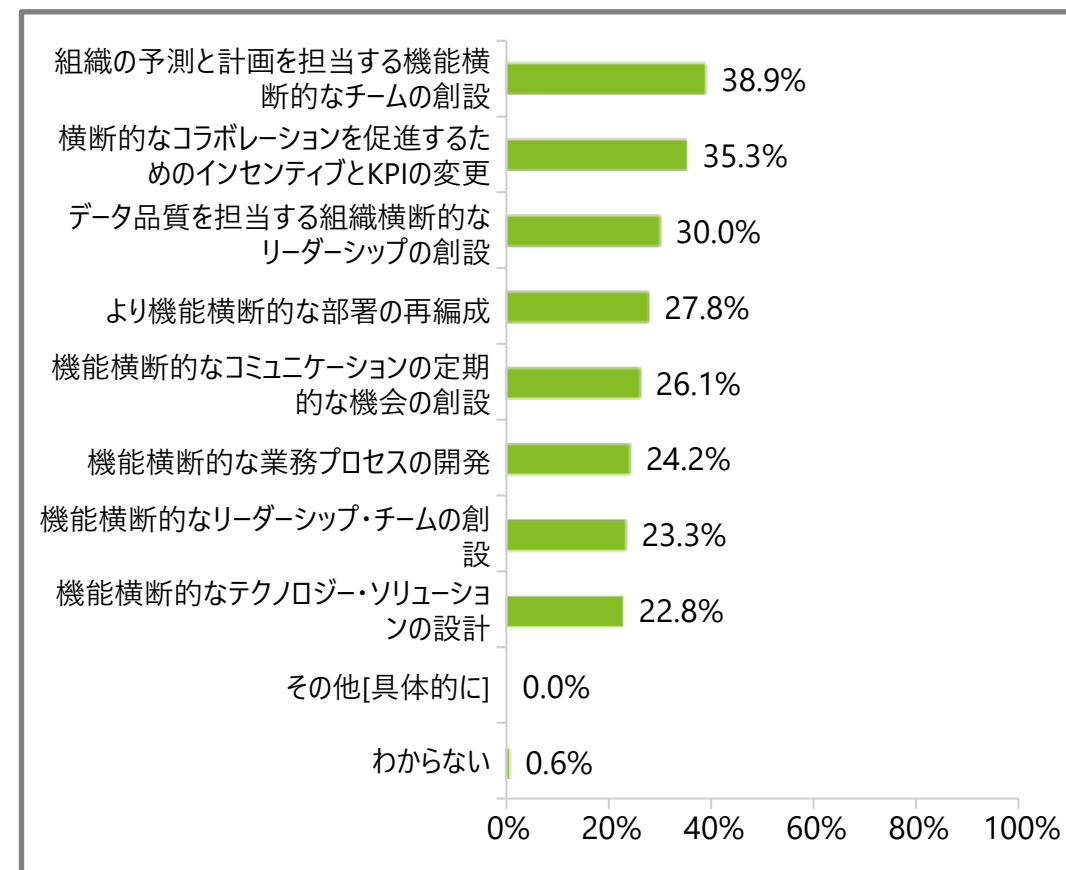
利害関係者に対するIFRS第17号に関するあなたの組織のコミュニケーションのレベルについて、以下の記述にどの程度同意しますか？ 各行で1つ選んでください。



パートVI：事業の強化

あなたの組織にとってIFRS第17号に準拠した場合の利点は何だと思えますか？ あてはまるものをすべて選んでください。

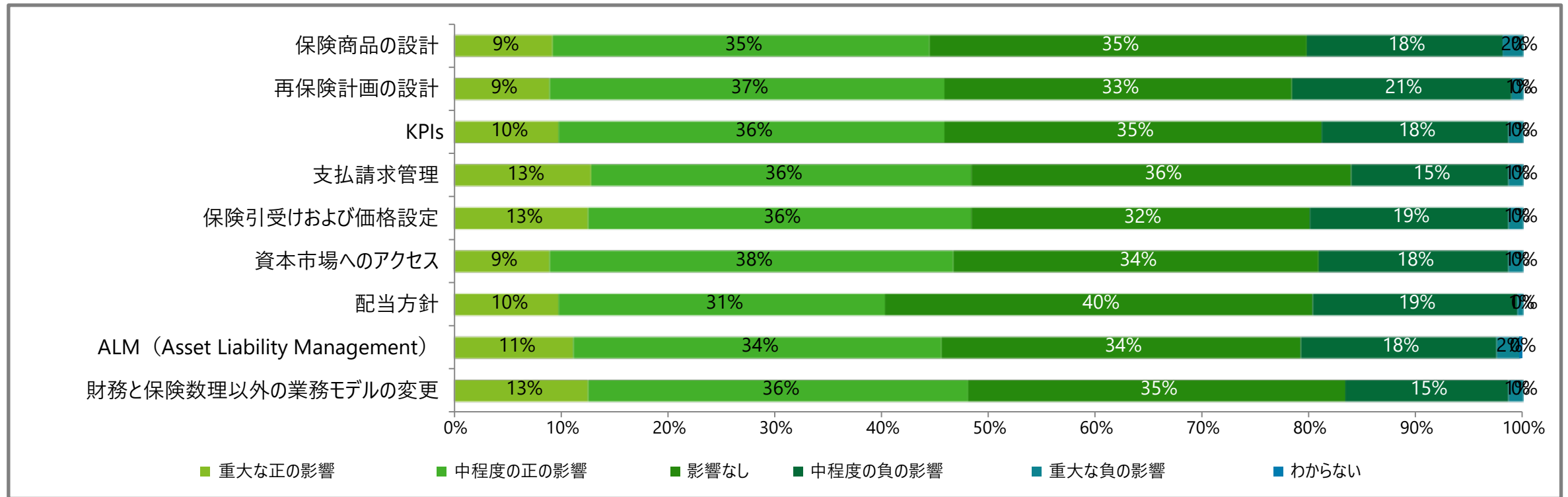
回答	#	%
組織の予測と計画を担当する機能横断的なチームの創設	140	38.9%
横断的なコラボレーションを促進するためのインセンティブとKPIの変更	127	35.3%
データ品質を担当する組織横断的なリーダーシップの創設	108	30.0%
より機能横断的な部署の再編成	100	27.8%
機能横断的なコミュニケーションの定期的な機会の創設	94	26.1%
機能横断的な業務プロセスの開発	87	24.2%
機能横断的なリーダーシップ・チームの創設	84	23.3%
機能横断的なテクノロジー・ソリューションの設計	82	22.8%
その他[具体的に]	0	0.0%
わからない	2	0.6%
上記複数選択への回答者総数	360	100.0%



IFRS第17号はあなたの組織の事業の以下の部分にどのような影響を与えますか？ 各行で1つ選んでください。

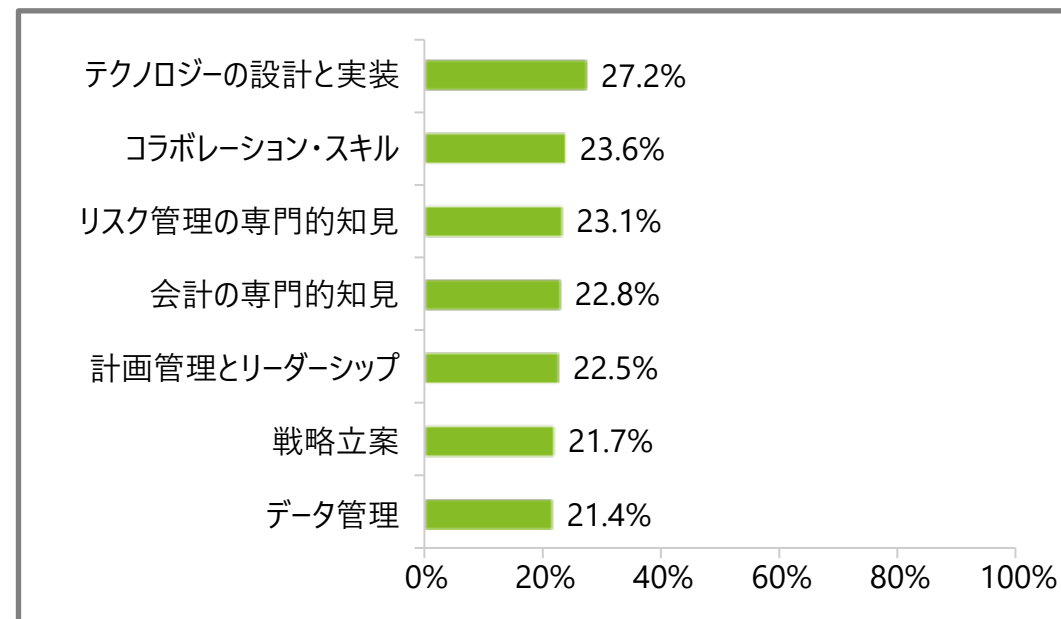
	重大な 正の影響	中程度の 正の影響	影響なし	中程度の 負の影響	重大な 負の影響	わからない	合計
保険商品の設計	33 9.2%	127 35.3%	127 35.3%	66 18.3%	7 1.9%	0 0.0%	360 100.0%
再保険計画の設計	32 8.9%	133 36.9%	117 32.5%	74 20.6%	4 1.1%	0 0.0%	360 100.0%
KPIs	35 9.7%	130 36.1%	127 35.3%	63 17.5%	5 1.4%	0 0.0%	360 100.0%
支払請求管理	46 12.8%	128 35.6%	128 35.6%	53 14.7%	5 1.4%	0 0.0%	360 100.0%
保険引受けおよび価格設定	45 12.5%	129 35.8%	114 31.7%	67 18.6%	5 1.4%	0 0.0%	360 100.0%
資本市場へのアクセス	32 8.9%	136 37.8%	123 34.2%	64 17.8%	5 1.4%	0 0.0%	360 100.0%
配当方針	35 9.7%	110 30.6%	144 40.0%	69 19.2%	2 0.6%	0 0.0%	360 100.0%
ALM (Asset Liability Management)	40 11.1%	124 34.4%	121 33.6%	66 18.3%	8 2.2%	1 0.3%	360 100.0%
財務と保険数理以外の業務モデルの変更	45 12.5%	128 35.6%	127 35.3%	55 15.3%	5 1.4%	0 0.0%	360 100.0%

IFRS第17号はあなたの組織の事業の以下の部分にどのような影響を与えますか？ 各行で1つ選んでください。



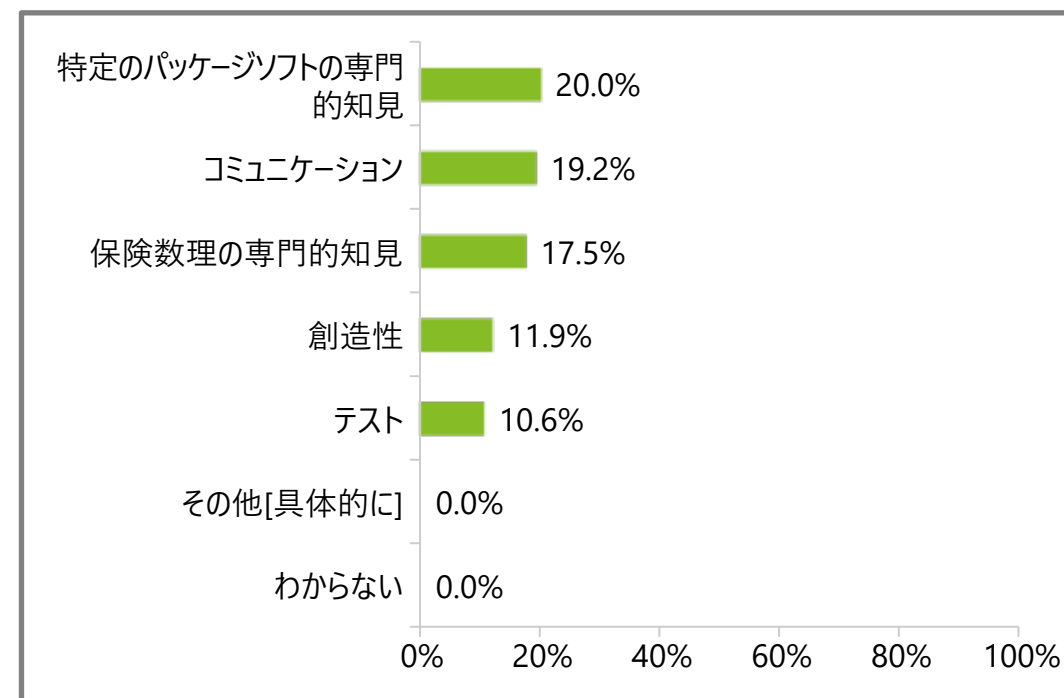
あなたの組織がIFRS第17号に準拠するために最も必要なスキルは以下のどれですか？ 3つまで選んでください。

回答	#	%
テクノロジーの設計と実装	98	27.2%
コラボレーション・スキル	85	23.6%
リスク管理の専門的知見	83	23.1%
会計の専門的知見	82	22.8%
計画管理とリーダーシップ	81	22.5%
戦略立案	78	21.7%
データ管理	77	21.4%



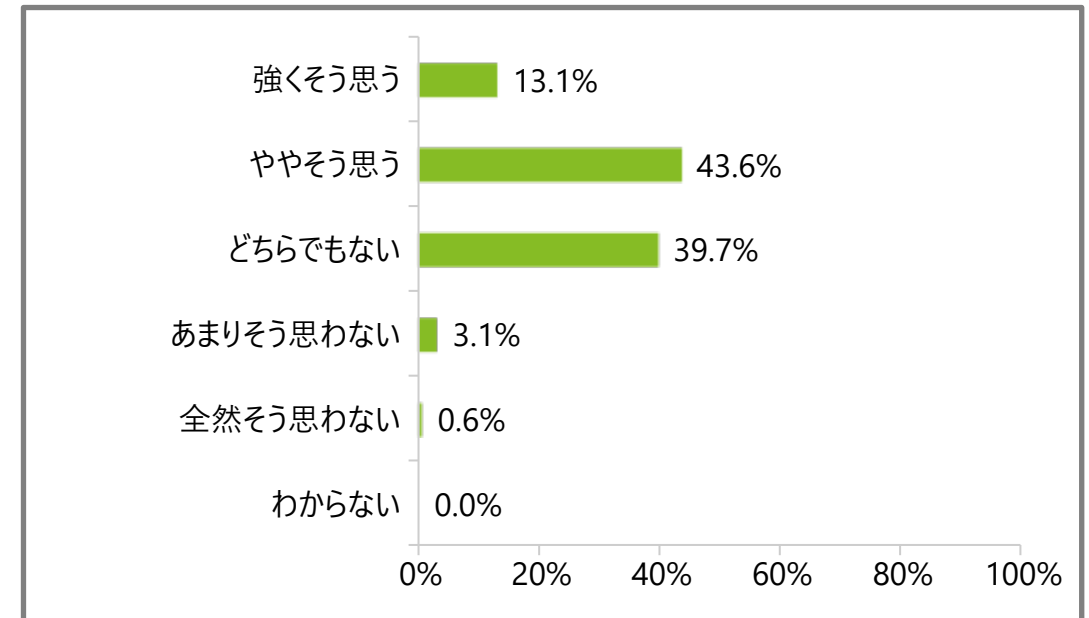
あなたの組織がIFRS第17号に準拠するために最も必要なスキルは以下のどれですか？ 3つまで選んでください。
 (続き)

回答	#	%
特定のパッケージソフトの専門的知見	72	20.0%
コミュニケーション	69	19.2%
保険数理の専門的知見	63	17.5%
創造性	43	11.9%
テスト	38	10.6%
その他[具体的に]	0	0.0%
わからない	0	0.0%
上記複数選択への回答者総数	360	100.0%



次の記述に同意するかどうか示してください。 1つ選んでください。
【あなたの事業ではIFRS第17号を採用する利点は予想されるコストを上回る。】

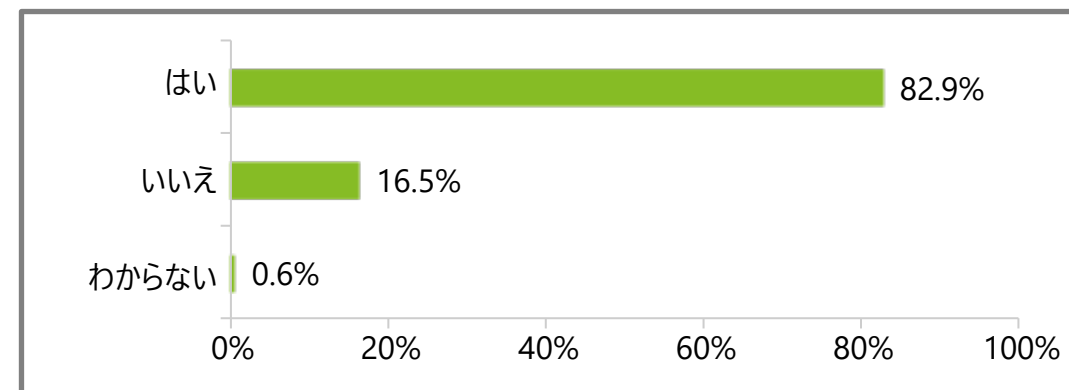
回答	#	%
強くそう思う	47	13.1%
ややそう思う	157	43.6%
どちらでもない	143	39.7%
あまりそう思わない	11	3.1%
全然そう思わない	2	0.6%
わからない	0	0.0%
合計	360	100.0%



IFRS第17号に準拠した2023年の財務諸表を作成するにあたり、年次コホート除外規定を利用するつもりですか？ 1つ選んでください。

この質問は、EUにグループ本社を置くグループの一部である会社に勤務すると答えた158人の参加者に尋ねられました。

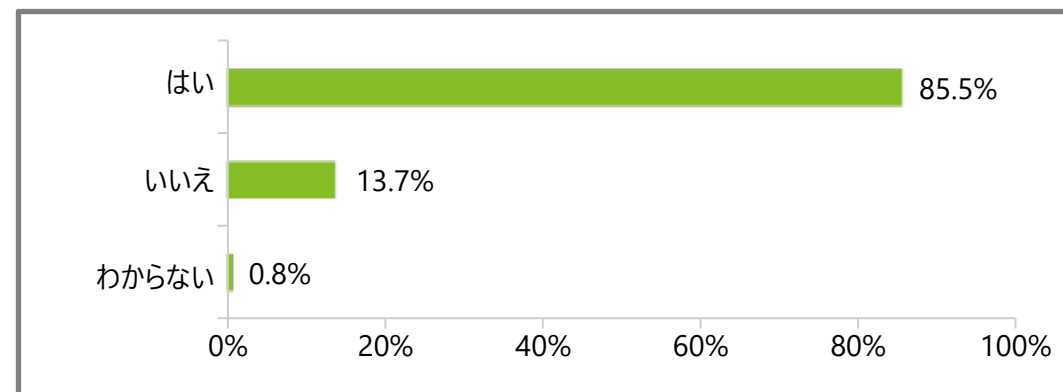
回答	#	%
はい	131	82.9%
いいえ	26	16.5%
わからない	1	0.6%
合計	158	100.0%



財務諸表への重要な影響があると予想しますか？ 1つ選んでください。

この質問は、46ページの質問に「はい」と答えた131人の参加者に尋ねられました。

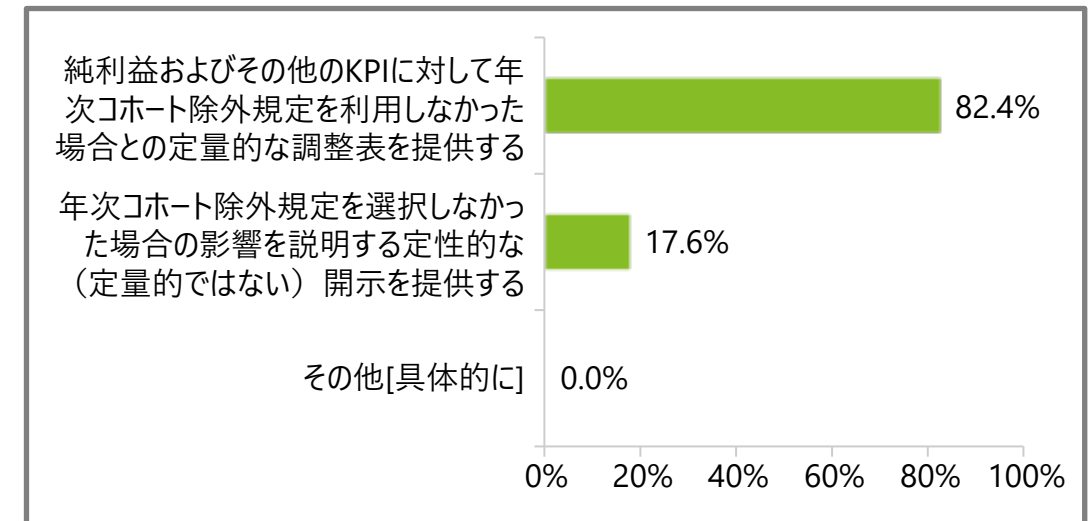
回答	#	%
はい	112	85.5%
いいえ	18	13.7%
わからない	1	0.8%
合計	131	100.0%



年次コホート免除を適用しなかった企業とあなたの財務諸表をどう比較可能にするつもりですか？ 1つ選んでください。

この質問は、46ページの質問に「はい」と答えた131人の参加者に尋ねられました。

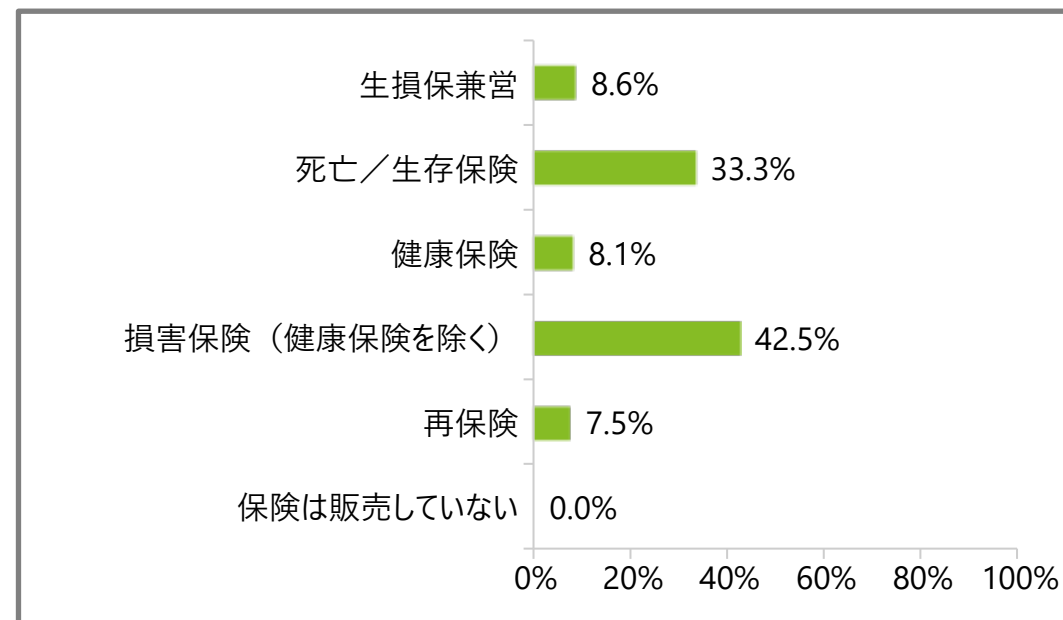
回答	#	%
純利益およびその他のKPIに対して年次コホート除外規定を利用しなかった場合との定量的な調整表を提供する	108	82.4%
年次コホート除外規定を選択しなかった場合の影響を説明する定性的な（定量的ではない）開示を提供する	23	17.6%
その他[具体的に]	0	0.0%
合計	131	100.0%



属性統計／スクリーニング調査

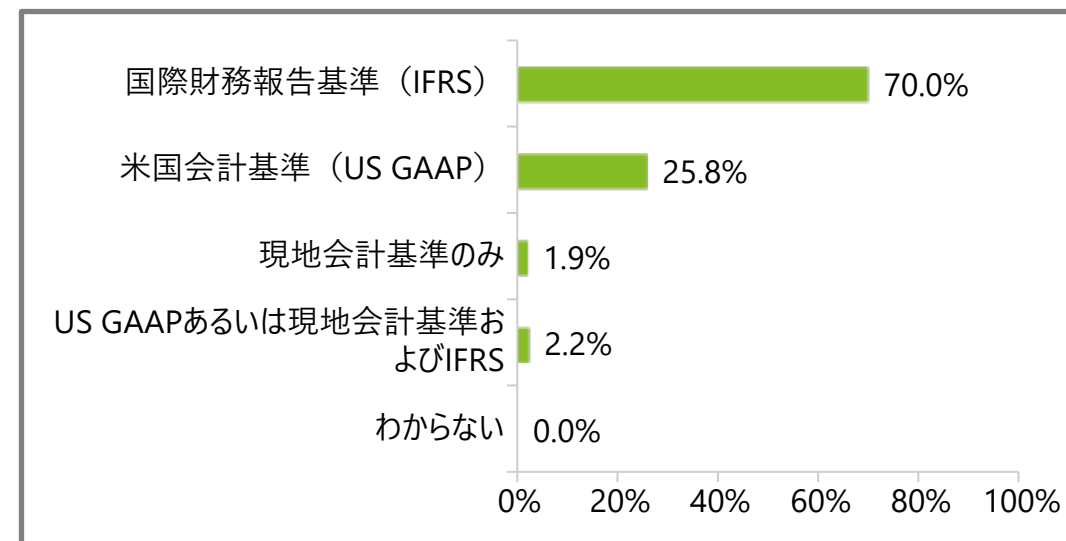
あなたの会社の主要な事業を最も良く説明するのはどれですか？ 1つ選んでください。

回答	#	%
生損保兼営	31	8.6%
死亡／生存保険	120	33.3%
健康保険	29	8.1%
損害保険（健康保険を除く）	153	42.5%
再保険	27	7.5%
保険は販売していない	0	0.0%
合計	360	100.0%



あなたの会社はどの会計基準に準拠していますか？（グループ報告目的を含む） 1つ選んでください。

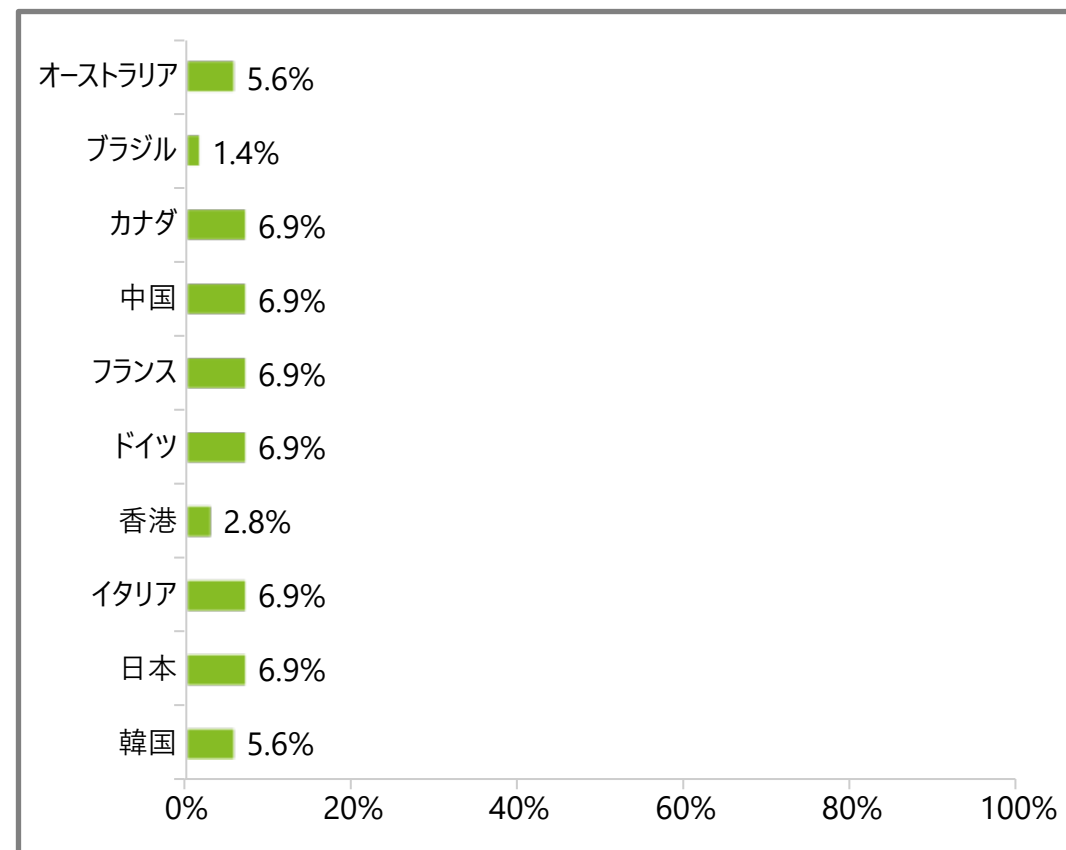
回答	#	%
国際財務報告基準（IFRS）	252	70.0%
米国会計基準（US GAAP）*	93	25.8%
現地会計基準のみ*	7	1.9%
US GAAPあるいは現地会計基準およびIFRS	8	2.2%
わからない	0	0.0%
合計	360	100.0%



- これらの回答者はすべて将来的にIFRSを採用する意向であることが確認されたので本調査に含められました。

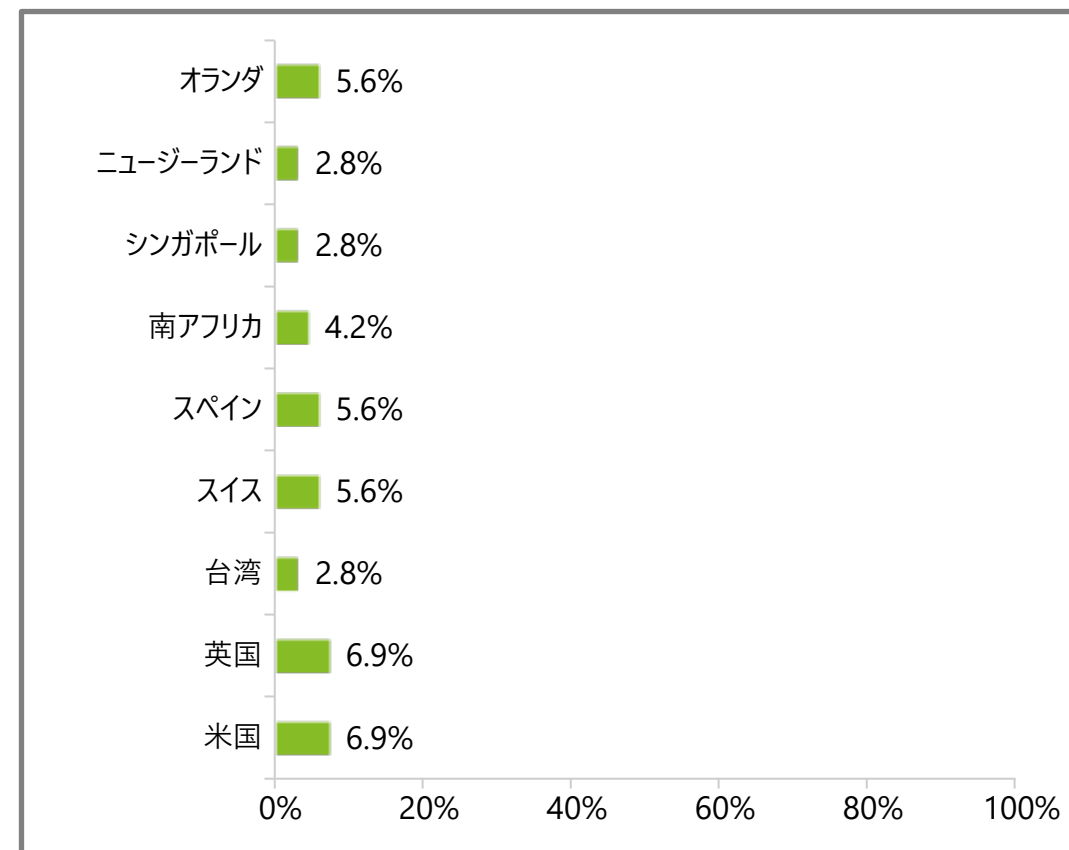
あなたの拠点はどこですか？ 1つ選んでください。

回答	#	%
オーストラリア	20	5.6%
ブラジル	5	1.4%
カナダ	25	6.9%
中国	25	6.9%
フランス	25	6.9%
ドイツ	25	6.9%
香港	10	2.8%
イタリア	25	6.9%
日本	25	6.9%
韓国	20	5.6%



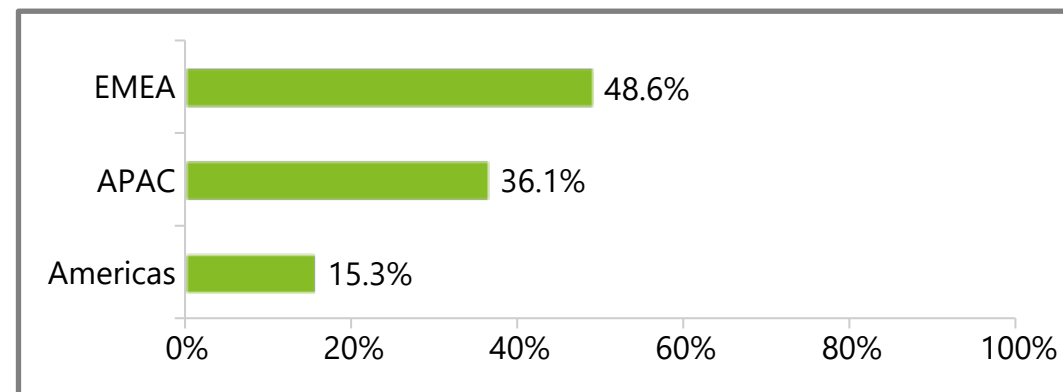
あなたの拠点はどこですか？ 1つ選んでください。（続き）

回答	#	%
オランダ	20	5.6%
ニュージーランド	10	2.8%
シンガポール	10	2.8%
南アフリカ	15	4.2%
スペイン	20	5.6%
スイス	20	5.6%
台湾	10	2.8%
英国	25	6.9%
米国	25	6.9%
合計	360	100.0%



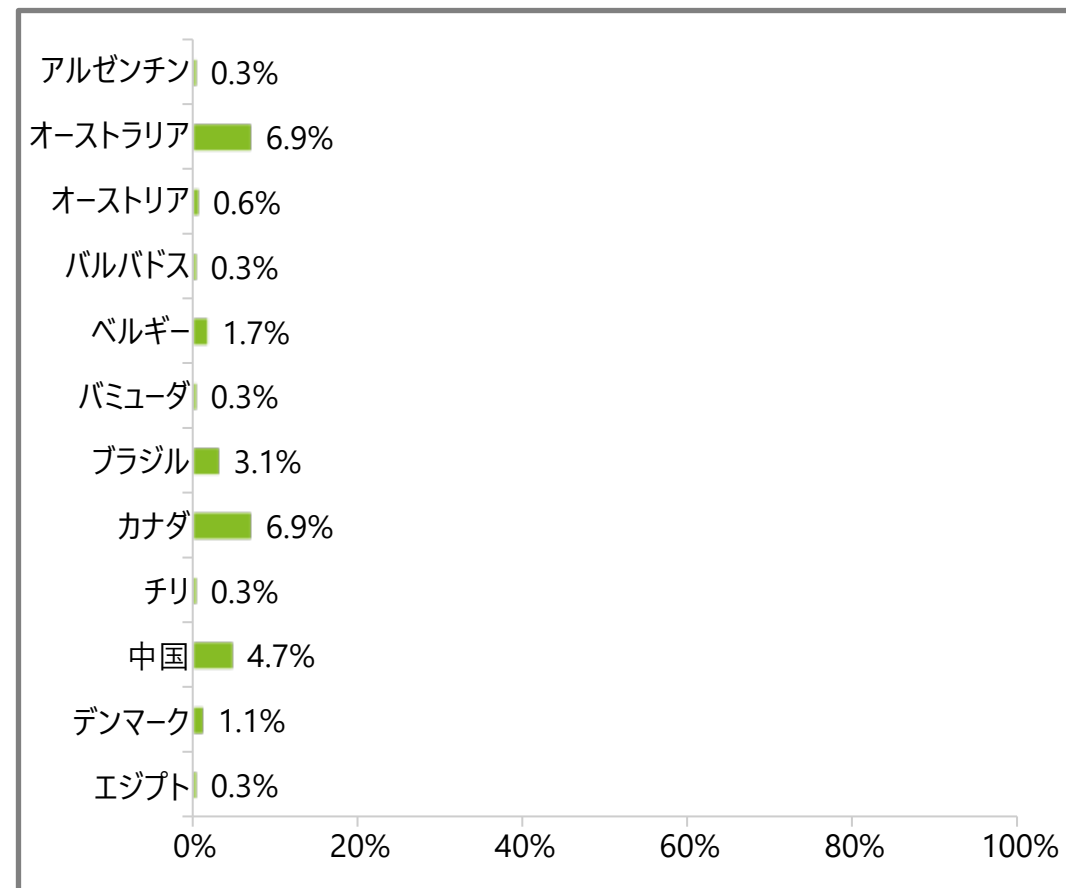
あなたの拠点はどこですか？ 1つ選んでください。

回答	#	%
EMEA (ヨーロッパ、中東、アフリカ)	175	48.6%
APAC (アジア、太平洋)	130	36.1%
Americas (南北アメリカ)	55	15.3%
合計	360	100.0%



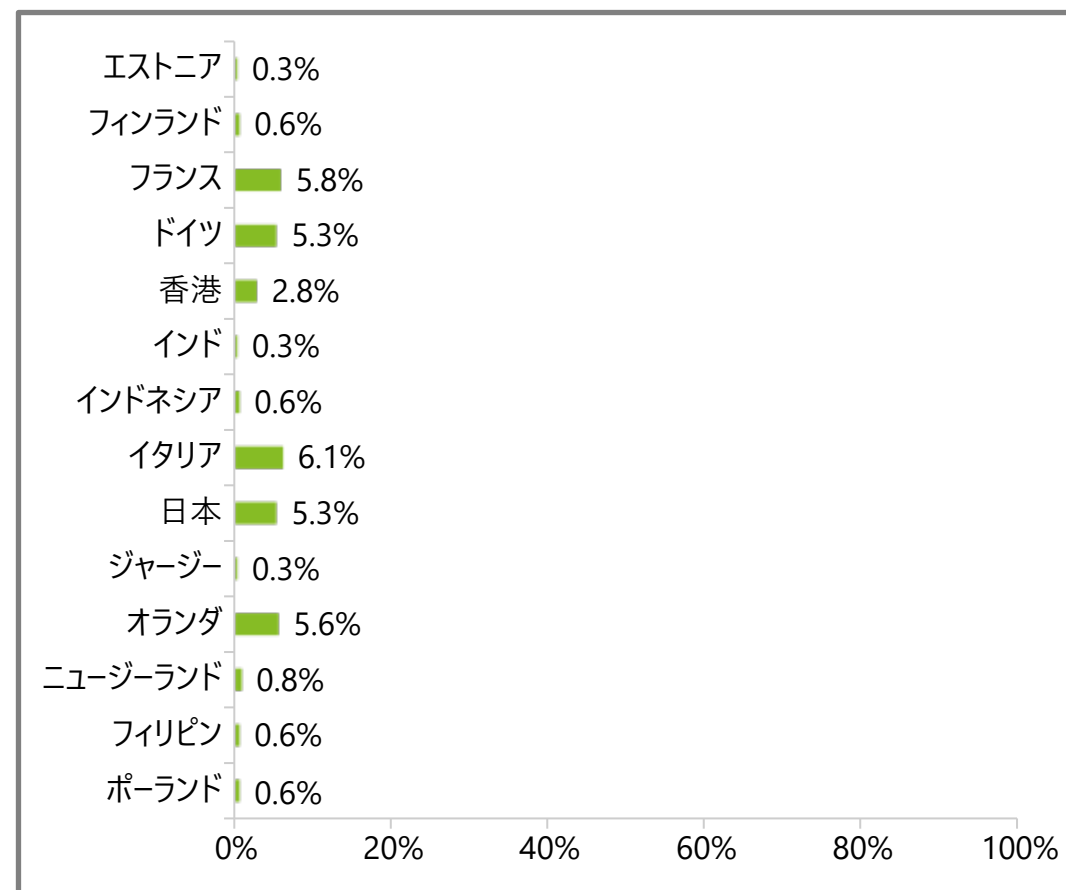
親会社の拠点はどこですか？ 1つ選んでください。

回答	#	%
アルゼンチン	1	0.3%
オーストラリア	25	6.9%
オーストリア	2	0.6%
バルバドス	1	0.3%
ベルギー	6	1.7%
バミューダ	1	0.3%
ブラジル	11	3.1%
カナダ	25	6.9%
チリ	1	0.3%
中国	17	4.7%
デンマーク	4	1.1%
エジプト	1	0.3%



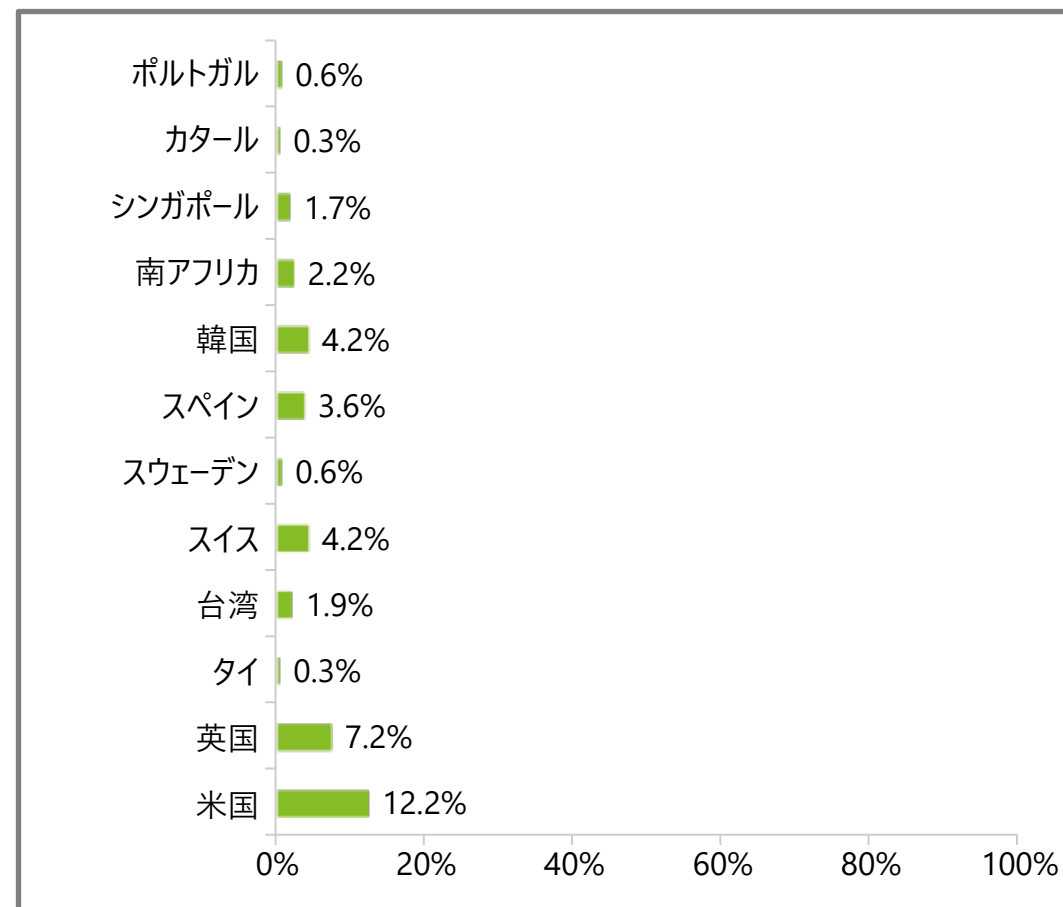
親会社の拠点はどこですか？ 1つ選んでください。（続き）

回答	#	%
エストニア	1	0.3%
フィンランド	2	0.6%
フランス	21	5.8%
ドイツ	19	5.3%
香港	10	2.8%
インド	1	0.3%
インドネシア	2	0.6%
イタリア	22	6.1%
日本	19	5.3%
ジャージー	1	0.3%
オランダ	20	5.6%
ニュージーランド	3	0.8%
フィリピン	2	0.6%
ポーランド	2	0.6%



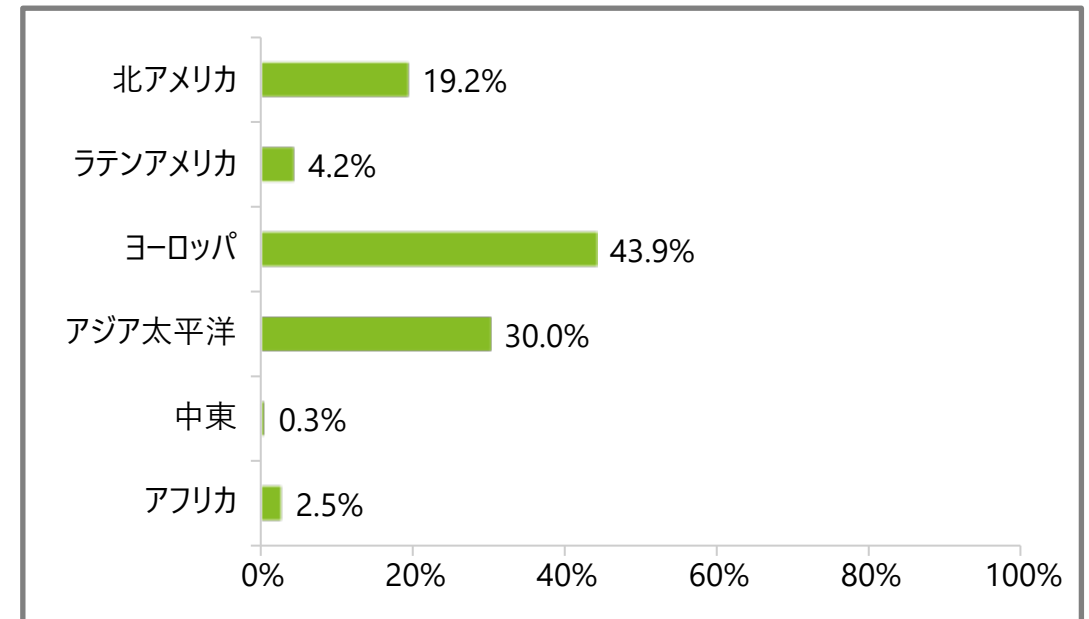
親会社の拠点はどこですか？ 1つ選んでください。（続き）

回答	#	%
ポルトガル	2	0.6%
カタール	1	0.3%
シンガポール	6	1.7%
南アフリカ	8	2.2%
韓国	15	4.2%
スペイン	13	3.6%
スウェーデン	2	0.6%
スイス	15	4.2%
台湾	7	1.9%
タイ	1	0.3%
英国	26	7.2%
米国	44	12.2%
合計	360	100.0%



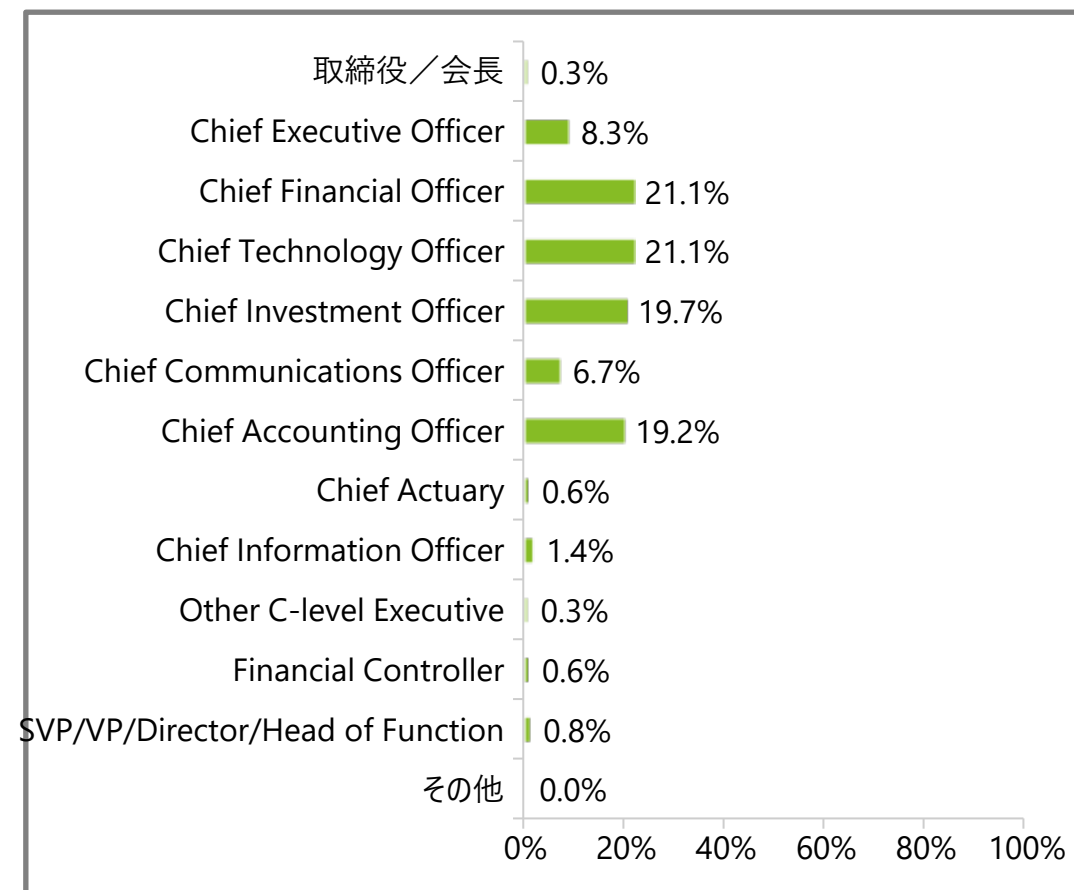
親会社の拠点はどこですか？ 1つ選んでください。（続き）

回答	#	%
北アメリカ	69	19.2%
ラテンアメリカ	15	4.2%
ヨーロッパ	158	43.9%
アジア太平洋	108	30.0%
中東	1	0.3%
アフリカ	9	2.5%
合計	360	100.0%



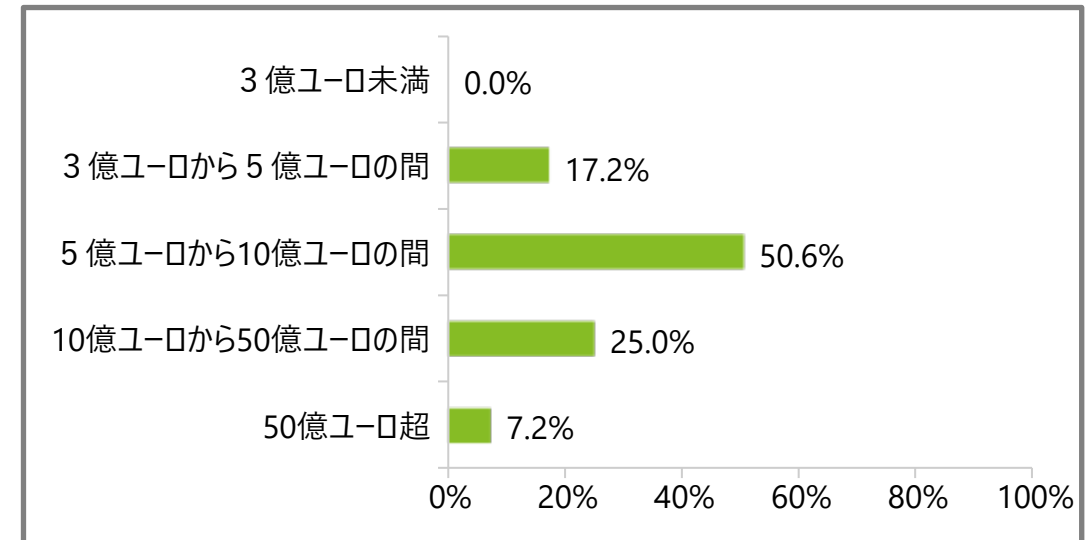
あなたの職位を最も良く表すのはどれですか？ 1つ選んでください。

回答	#	%
取締役／会長	1	0.3%
Chief Executive Officer	30	8.3%
Chief Financial Officer	76	21.1%
Chief Technology Officer	76	21.1%
Chief Investment Officer	71	19.7%
Chief Communications Officer	24	6.7%
Chief Accounting Officer	69	19.2%
Chief Actuary	2	0.6%
Chief Information Officer	5	1.4%
Other C-level Executive	1	0.3%
Financial Controller	2	0.6%
SVP/VP/Director/Head of Function	3	0.8%
その他	0	0.0%
合計	360	100.0%



あなたの組織の直近の年次財務諸表における正味収入保険料の金額はいくらでしたか？（あなたの会社がグループに属している場合、グループの連結財務諸表を考えてください。） 1つ選んでください。

回答	#	%
3億ユーロ未満	0	0.0%
3億ユーロから5億ユーロの間	62	17.2%
5億ユーロから10億ユーロの間	182	50.6%
10億ユーロから50億ユーロの間	90	25.0%
50億ユーロ超	26	7.2%
合計	360	100.0%



連絡先

Francesco Nagari
グローバルIFRS保険リーダー
中国
frnagari@deloitte.com.hk

Larry Danielson
グローバルIFRS保険テクノロジー・リーダー
米国
ldanielson@deloitte.com

Jerome Lemierre
IFRS保険ヨーロッパ中東アフリカリーダー
フランス
jlemierre@deloitte.fr

Anne Driver
グローバルIFRS17損保リーダー
オーストラリア
adriver@deloitte.com.au

Murray McLaren
グローバルIFRS保険税務リーダー
英国
mmclaren@deloitte.co.uk

Darryl Wagner
IFRS保険アメリカ地域リーダー
米国
dawagner@deloitte.com

Andrew Warren
グローバルIFRS17 Tools and Acceleratorsリーダー
南アフリカ
anwarren@deloitte.co.za

Stephen Keane
IFRS保険ヨーロッパ中東アフリカリーダー
英国
skeane@deloitte.co.uk

Elaine Hultzer
グローバルIFRS17 Auditability Leader
オーストラリア
elhultzer@deloitte.com.au

Deloitte.

デロイト トーマツ

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ 合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人およびデロイト トーマツ グループ 合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスク アドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約1万7千名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュート マツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは DTTL のメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィック における100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、リスク アドバイザリー、税務、法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500® の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約415,000名の人材の活動の詳細については、（www.deloitte.com）をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、DTTL、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。

© 2023. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited